

# 【第1号議案】(報告事項)

## 平成29年度事業報告に関する件 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

### I. 事業の状況

伊藤吾朗新会長のもと、産官学連携の強化、会員拡大・ユーザー企業勧誘、人材育成(ダイバーシティ追加)、グローバル化、マルチマテリアル化への対応などをキーワードとする持続的な研究・技術開発活動、講演大会・シンポジウム・会誌出版など事業活動、国際交流活動など魅力ある学会を目指した活動を実施した。7年ぶりにホームページを一新し、「魅力ある学会」としての情報発信強化、会員サービス向上を図るとともに、総合計画委員会内に会員増強WGを設置し、会員拡大策を検討した。平成26年度より開始した二次加工業界の多くを占める中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業R&D支援プログラム」は4年目を迎え、各支部において、無料講習会・セミナー、研修会、見学会、企業奨励賞表彰などの行事を活発に行い、会員サービス向上による会員基盤増強を推進した。また、春秋講演大会においても、ユーザー企業参加促進策として企業・学生交流会、日本アルミニウム協会賞受賞企業の招待講演、展示に加え開催地域の企業を集めた支部展示を実施した。人材育成については大学オープンキャンパスへの軽金属製品提供を6種材料の重量比較サンプル供与も追加して、今期も実施し、小中高生、教師、父兄への軽金属製品啓蒙を行った。また、学生会員の就職支援事業として、昨年掲載開始したWEB上のライトメタルリクルートサイトに維持会員企業24社の採用情報を提供した。さらに、日本アルミニウム協会のインターンシップ募集企業一覧サイトに本学会維持会員企業の掲載準備を行った。また、男女共同参画活動推進を目的に、総合計画委員会内に男女共同参画委員会設置準備WGを設置し、材料工学分野における女子学生、女性研究者・技術者の増加策、女性活躍を社会的に定着させるための方策などを検討する男女共同参画委員会を来期から常設委員会としての設置を決定した。国際交流事業は、2022年のICAA(International Conference on Aluminum Alloys)18誘致準備WGを設置し、2018年6月のICAA16での立候補準備、運営体制検討を実施した。また、「環境とエネルギー」をテーマとするALMA(Asian Light Metals Association) Forum 2018 & Meetingの第135回秋期講演大会同時開催の準備を行った。外国人の講演大会参加勧誘策として、概要への英語アブストラクト追加、概要・ポスター図表のキャプション英語化を第133回秋期大会から開始した。日本人学生の英語ポスター発表チャレンジを期待し、優秀英語ポスター発表賞の設置準備も実施した。この他、材料系他学会と連携し、平成30年6月に国際交流ワークショップ「材料系学協会における国際交流活動の課題と展望」の開催準備を行った。研究開発活動は16研究部会が活発な活動を展開し、さらに、平成30年に4部会(高強度材、高温材料特性、リサイクル、耐火物)新設を決定した。学会誌「軽金属」では論文投稿の促進策として、ポーラス金属等の軽金属材料を投稿対象に追加し、さらに、軽金属奨学会の協力を得て、論文賞、論文新人賞への副賞賞金贈呈を開始した。シンポジウムにおいては自動車、異種材料接合などを取り上げ、マルチマテリアル化の話題提供を行った。日本アルミニウム協会の土木製品開発委員会、アルミニウム建築構造協議会の協力を得て、17年ぶりに建築・土木関係のシンポジウムも開催した。

### [1]研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1項第1号)

#### 1. 春秋講演大会の開催

##### 1)第132回春期大会

会期	:平成29年5月20日、21日	
会場	:名古屋大学 東山キャンパス	
実行委員長	:興戸正純(名古屋大学)	
定時総会	:平成29年5月20日	
研究発表講演	:平成29年5月20日、21日	142件発表
ポスターセッション	:平成29年5月20日	59件発表
表彰式	:平成29年5月20日	
懇親会	:平成29年5月20日(ホテルメルパルク名古屋)	
見学会	:平成29年5月19日 知の拠点あいち、あいちシンクロトロン光センター、トヨタ博物館	5名参加
機器・カタログ展示	:平成29年5月20日、21日	12社参加
企業交流会	:平成29年5月20日、21日	9社参加

##### 2)第133回秋期大会

会期	:平成29年11月4日、5日	
会場	:宇都宮大学 陽東キャンパス	
実行委員長	:高山善匡(宇都宮大学)	
研究発表講演	:平成29年11月4日、5日	146件発表
ポスターセッション	:平成29年11月4日	64件発表
表彰式	:平成29年11月4日	
懇親会	:平成29年11月4日(ホテルマイステイズ宇都宮)	
機器・カタログ展示	:平成29年11月4日、5日	9社参加
企業・学生交流会	:平成29年11月4日、5日	14社参加

#### 2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催平成年月日	開催場所	参加者数
1	第 103 回シンポジウム「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド III」 ～マルチマテリアル車体時代を担う材料たちの現状と将来展望～	29 年 6 月 2 日	日本大学 駿河台キャンパス	63 名
2	第 33 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－中級編(時効析出)」第 5 回	29 年 6 月 9 日	千葉工業大学 津田沼キャンパス	20 名
3	第 104 回シンポジウム「アルミニウム合金板材の成形シミュレーション高精度化技術」	29 年 6 月 30 日	日本大学 駿河台キャンパス	10 名
4	第 34 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－応用編(加工・熱処理による組織変化)」第 3 回	29 年 7 月 7 日	関西大学 千里山キャンパス	21 名
5	軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」	29 年 9 月 21-22 日	つま恋リゾート彩の郷	39 名
6	第 105 回シンポジウム「軽量化を実現する異種材料接合技術」～軽金属材料と異種材料の複合化～	29 年 9 月 22 日	東京工業大学キャンパス イノベーションセンター	66 名
7	第 106 回シンポジウム「アルミニウム建築・土木の現状と将来展望」 ～さらなる適用範囲、需要の拡大を目指して～	29 年 11 月 22 日	日本大学 駿河台キャンパス	33 名
8	第 32 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－入門編(状態図と組織)」第 7 回	30 年 2 月 16 日	日本大学 駿河台キャンパス	33 名
9	第 33 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－中級編(時効析出)」第 6 回	30 年 3 月 16 日	千葉工業大学 津田沼キャンパス	25 名
10	第 1 回 見学会 第 51 回小山田記念賞受賞「ヤマハ発動機株」見学会	30 年 3 月 23 日	ヤマハ発動機	30 名
11	第 34 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－応用編(加工・熱処理による組織変化)」第 4 回	30 年 3 月 30 日	工学院大学 新宿キャンパス	26 名

## [2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第 4 条第 1 項第 2 号)

### 1. 国際交流

#### 1) ICAA(International Conference on Aluminum Alloys)

ICAA18 準備 WG(WG 長: 富山大学・松田健二教授)を設置し、日程、会場、組織委員会案などを作成し、平成 30 年 6 月 17 日-21 日にカナダモントリオールで開催される ICAA16 の国際委員会にて日本代表国際委員: 東京工業大学・熊井真次教授、(株)UACJ・田中宏樹氏、ICAA18 準備 WG 松田健二主査による誘致プレゼンテーションの準備を行った。

#### 2) ALMA (Asian Light Metals Association) Forum 2018 & Meeting

平成 30 年 11 月 9 日-11 日に芝浦工業大学豊洲キャンパスにて開催される第 135 回秋期大会と同開催を決定し、参加者選定の上、「環境とエネルギー」をテーマとする Forum プログラム案を作成し、各国委員に開催案内を行った。

#### 3) 第 13 回軽金属国際ワークショップ

平成 29 年 10 月 12 日に、富山大学第 3 回先端材料研究フォーラムの共催行事として第 13 回軽金属国際ワークショップを開催した。以下の 16 件の講演を行った。

- ①「多元素合金－ハイエントロピー合金－新しいクラスの金属に対する科学と工業」  
Prof. Gary J. Shiflet, バージニア大学(USA)
- ②「先端電子顕微鏡を用いた時効硬化型アルミニウム合金の研究」  
Prof. Randi Holmestad, ノルウェー科学技術大学自然部物理学科
- ③「アルミニウム合金の加工熱処理時におけるミクロ組織の特性とモデリング」  
Prof. Knut Marthinsen, ノルウェー科学技術大学工学部材料工学科
- ④「新規 ECAP 法による 1050 アルミニウム板材の製造」  
Prof. Malgorzata Lewandowska, ワルシャワ工科大学(ポーランド)
- ⑤「種々の塑性変形による CuCrZr 合金の最高強化法」  
Prof. Tibor Kvackaj, コシツエ工科大学(スロバキア)
- ⑥「反射・透過モード走査低エネルギー電子顕微鏡の進歩」  
P Dr. Ilona Mullerova, チェコ科学アカデミー 科学機器研究所 r
- ⑦「JST さくらサイエンスプラン招へい学生による富山大学でのアルミ研究成果報告」  
大学院生 Mr. Hoang Anh Quang, Mr. Vu Anh Tuan, Mr. Nguyen Hong Hai  
Assoc. Prof. Dr. Pham Mai Khanh, ハノイ工科大学(ベトナム)
- ⑧「土木建築用グリーン素材」  
学科長 Assist. Prof. Kedsarin Pimraksa, チェンマイ大学(タイ王国)
- ⑨「透明アルミナ多結晶の製法」  
Lecturer, Dr. Dang Quoc Khanh, ハノイ工科大学(ベトナム)
- ⑩「ECAP したアルミニウム合金に対する Sc, Zr 添加の影響」  
Assoc. Prof. Chaiyasit Banjongprasert, チェンマイ大学(タイ王国)
- ⑪「繰返し高温酸化条件での Ti-46Al-8Nb 合金に対する B あるいは C の影響」  
Prof. Kazimierz Przybylski, AGH 科学技術大学 (ポーランド)

- ⑫「エネルギー応用のための表面中和されたアルミ粉末の合成と今後の展望」  
Principal Researcher, Dr. Kim Kyung Tae, 韓国材料研究所 (大韓民国)
- ⑬「高配列エントロピー安定化酸化物の合成と性質」  
Dr. Mirosław Stygar, AGH 科学技術大学 (ポーランド)
- ⑭「摩擦攪拌接合した 2297 Al-Li 合金のマイクロ組織と機械的性質」  
Prof. Yong Zou, 山東大学 (中国)
- ⑮「電気端子における金低減のための新規電気メッキ法に関する研究」  
Assoc. Prof., Injoon Son, 慶北大学校 (大韓民国)
- ⑯「熱交換アルミニウム合金のマイクロ組織に関する TEM 研究」  
Dr. Calin D. Marioara, SINTEF (ノルウェー)

#### 4) 学協会国際交流ワークショップ

大学等の研究機関や企業は個々にグローバル化を進めているが、学協会においてもグローバル化の取組みも重要であり、材料系の学協会の国際交流活動の現状について理解するとともに、材料系学協会に求められる国際交流活動とは何か、国際交流課活動における課題とその解決法は何か、各学協会が連携してできる国際交流活動は何か、などについて議論する学協会国際交流ワークショップ「材料系学協会における国際交流活動の課題と展望」開催(平成30年6月6日)を企画した。本学会、日本学術会議、日本材料学会、日本金属学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、資源・素材学会の国際交流担当者が講演予定。

## 2. 産学官の連携

経済産業省製造産業局金属課金属技術室室長 坂元耕三様に第133回秋期大会懇親会にご臨席、ご挨拶賜り、当学会役員との意見交換を行った。また、参与会を2回開催し、ハリタ金属(株)射水リサイクルセンターのリサイクル工程、レーザ誘起ブレイクダウン分光法(Laser-Induced Breakdown Spectroscopy)を利用したLIBSソーティング機の見学、「動静脈一体車両リサイクルシステム」の実現による省エネ実証事業(NEDO採択実証事業)の紹介講演、また、東京で開催した軽金属、アルミニウム業界ロードマップ、最近のアルミニウム合金材の接合技術 <自動車マルチマテリアル化に適用可能な接合技術動向>の講演会を通じて、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、ユーザー側からの助言を得た。参与会のあり方見直しのアンケートを行った。また、昨年に続き、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター構造材料研究部門から研究開発事業に関する提言を求められ、本学会の研究部会との連携等々、要請した。

## 3. 日本アルミニウム協会との連携

日本アルミニウム協会の主催により開催された産学懇談会に出席し、情報交換を行った。日本アルミニウム協会の研究助成事業の約 30 件の研究の大部分を講演大会で成果発表した。大学オープンキャンパスへの軽金属製品供与貸与事業にも参画いただき、子供向け学習教材「アルミなるほどミュージアム」冊子 300 部供与、アルミニウム、マグネシウム、チタン、銅、ステンレス、樹脂の 6 種類の重量比較サンプル供与準備の協力を得た。

## 4. 日本マグネシウム協会、日本チタン協会、軽金属溶接協会との連携

平成 27 年度より立ち上げたマグネシウム、チタン関連の研究部会を継続し、研究連携を実施した。軽金属溶接協会とは溶接・接合関連の若手研究者奨励のため、春秋大会ポスター発表に軽金属溶接協会からの表彰を実施し、溶接関係研究発表の合計 5 名が表彰された。

## 5. 他学術団体、業界団体との連携

日本学術会議材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。日本学術会議提言「材料工学から見たものづくり人材育成の課題と展望」について、本学会内では男女共同参画委員会準備 WG を設置し、材料工学分野における女子学生、女性研究者・技術者の増加策、女性活躍を社会的に定着させるための方策などを検討する男女共同参画委員会設置準備を実施した。材料戦略委員会とは第 6 期科学技術基本計画(平成 33 年-37 年度)等に向けた、今後我が国が取り組むべき材料に関する具体的研究領域のキーワード創出に協力した。また、中学・高校における材料工学分野の知識の普及については、日本金属学会からの要請に対応し、新設される理数系科目「理数探求」の教科書や副読本を材料工学分野中心に編纂する事業への協力を検討した。

## [3] 学会誌、学術図書等の刊行(定款第 4 条第 1 項第 3 号)

### 1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、第 67 巻 4-12 号、第 68 巻 1-3 号までの 12 冊を、うち、第 67 巻 5 号は特集号「空孔・溶質クラスタ・GP ゾーンに関する最近の研究」、第 67 巻 11 号は特集号「軽金属の複合化・ポーラス化技術と多機能化」として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。

区 分	編数	区 分	編数	区 分	編数
巻頭言	6	連載講座	12	支部編集特集	19
研究論文	38	新製品・新技術紹介	1	はぐくむ	6
技術報告	1	随想	4	研究部会紹介	12
解説	28	LM コラム	4	学会便り	14
研究ノート	4	研究室／研究所紹介	0	支部便り	12
国際交流	4	維持会員紹介	3	私の一枚	12

年間レビュー	12	国際会議便り	3	掲載総数	195
--------	----	--------	---	------	-----

## 2. 研究部会報告書の発行

昨年度終了したミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会の部会報告書を発行した。

No.	名 称	発行平成年月日
68	ミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会報告書 「熱処理型アルミニウム合金の時効挙動に対するミュオンスピン緩和スペクトル法の適用」	30年2月22日

## 3. その他刊行物

名 称	発行平成年月日
第132回春期大会講演概要集	29年4月20日
入門 アルミニウム製品の生産技術 ～上工程から下工程まで～	29年5月20日
第103回シンポジウム「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンドⅢ」～マルチマテリアル車体時代を担う材料たちの現状と将来展望～	29年6月2日
第105回シンポジウム「軽量化を実現する異種材料接合技術」～軽金属材料と異種材料の複合化～	29年9月22日
第133回秋期大会講演概要集	29年10月4日
第106回シンポジウム「アルミニウム建築・土木の現状と将来展望」～さらなる適用範囲、需要の拡大を目指して～	29年11月22日

## [4]研究及び調査の実施(定款第4条第1項第4号)

研究委員会は加工と熱処理による優先方位制御研究部会の後継部会となる「アルミニウムの再結晶集合組織形成モデル化研究部会」、ミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会の後継部会となる「アルミニウム合金の熱処理技術とミュオン測定検討部会」を加えた16部会が活発な研究事業を実施した。WEB上に各研究部会活動紹介を行い、部会活動の見える化を図った。春秋講演大会でミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会と超音波鋳造研究部会が企画したテーマセッションを実施した。異種材料接合・界面研究部会は異種材料接合シンポジウムを実施した。また、平成30年度開始の4研究部会、「アルミニウム製造副産物のアップサイクル研究部会」、「中・高温域におけるアルミ合金の機械的特性に関する研究部会」、「アルミニウム溶湯による耐火物の損傷プロセス研究部会」、「高強度アルミニウム合金研究部会」の設置準備を行った。

平成29年度の16研究部会の活動成果概要を下表に示す。

No.	部会名	課題	研究成果概要
1	高精度板成形シミュレーションの普及化検討研究部会 【開催期間】 平成28年4月-平成32年3月末	アルミニウム等軽金属材料の成形シミュレーションの材料モデルとパラメータの適正化による高精度化を行い、得られた知見の一般化を追及し、実用部品への適用も可能とする技術確立を進める。さらには、ソフト開発を視野に入れ、国プロへの提案を目指し研究開発を進める。	3回(平成29年7月24日、11月20日、平成30年3月15日)の研究部会を開催。 ①第104回シンポジウム「アルミニウム合金板材の成形シミュレーション高精度化技術」(平成29年6月30日)において、旧研究部会成果および現研究部会の取組みを報告。 ②共通サンプル5052-Oの二軸引張試験、結晶塑性有限要素法解析、成形解析、引張圧縮組合せ応力試験によりYld2000-2d降伏関数の同定、成形限界ひずみ測定、解析ソフトによる成形限界線の計算等を実施。 ③基礎成形評価試験、CAE解析によるシワ発生予測可否検証を実施。 ④NUMISHEET2018 BENCHMARK3の準備を行った。

2	<p>アルミニウムの再結晶集合組織形成モデル化研究部会</p> <p>【開催期間】 平成29年4月-平成33年3月末</p>	<p>アルミニウムの再結晶集合組織形成のモデル化を中心として、塑性加工を施したアルミニウムの変形・再結晶集合組織予測モデルの構築とその実験的検証、および再結晶集合組織による成形性(曲げ性・深絞り性)の評価を行う。ただし、用いる塑性加工法は圧延に限定しない。</p>	<p>4回(平成29年6月16日、10月5-6日、11月29日、平成30年3月14日)の研究部会、2回(平成29年9月5日、10月26日)のWG会を開催。</p> <p>①4年間の活動計画の説明と部会委員の役割分担を決定した。</p> <p>②前部会から継続した汎用の変形集合組織予測モデルを完成させるため、使用モデルとデータの入出力法等を議論した。</p> <p>③再結晶集合組織を経て材料特性を一気通貫で予測するため、すべてのプログラムの入出力形式を統一することとした。</p> <p>④再結晶集合組織の文献調査報告を行い、再結晶集合組織形成モデルについて議論を行った。</p> <p>⑤再結晶集合組織予測のためのモデル化指針を議論した。</p> <p>⑥本研究部会で得られる成果物(プログラム)の取り扱いを予め明確にしておくこととした。</p>
3	<p>アルミニウム合金の熱処理技術とミュオン測定検討部会</p> <p>【開催期間】 平成29年4月-平成33年3月末</p>	<p>ミュオンスピン緩和スペクトル法など最新の測定技術を駆使しつつ、熱処理において時効硬化型Al合金中に生ずる現象の正確かつ精密な把握と、その現象を最大限に生かしつつ、かつ低コスト化に効果的な熱処理技術、新規な熱処理手法を立案し、自動車、鉄道車両、航空機部材として利用可能な熱処理技術確立することを目的とする。</p>	<p>3回(平成29年7月26日、12月4日、平成30年2月22日)の研究部会を開催。前身部会ではミュオンスピン緩和法の研究手法について基礎的な知見が得られた。新部会では、実用合金への展開や効果的な熱処理技術の提案を目指す方向で、基礎的な研究と技術の両面から探求を行う。</p> <p>①初年度は時効硬化型Al合金における溶質クラスタの生成と熱処理に対する挙動を利用して、高強度・高延性を併せ持つAl合金製造の可能性検討することとした。また、正ミュオンのスピン緩和スペクトルに対する原子空孔の挙動を把握し、溶質元素の種類と濃度、試料の調質条件との関係をより深く解明することとした。(4元系以上の6000系、7000系Al合金)</p> <p>②新規に6000系Al合金以外の7000系合金においてミュオンスピン緩和法での原子空孔の挙動に関する結果が得られ、かつ磁化率との因果関係、さらに水素についても得られつつある。来年度は、J-PARCの使用を含めてマシンタイムを確保するとともに、原子空孔の効果を最大限生かすことができる熱処理条件と合金の最適化への展開を目指す方向で、基礎的な研究と技術の両面から探求を行う。</p>
4	<p>押出組織制御予測技術研究部会</p> <p>【開催期間】 平成27年4月-平成31年3月末</p>	<p>日本の押出技術(製品・生産技術)の高度化と世界との差別化を目的に、組織予測を可能にする組織制御技術の研究し、パラッキ制御、難押出合金の押出条件の最適化を可能にし、製品の差別化に貢献する技術確立を行なう。</p>	<p>3回(平成29年7月11日、11月16日、平成30年3月2日)の研究部会を開催。</p> <p>3大学(長岡技科大、千葉工大、日本大)と委託研究契約を継続し、調査研究を実施した。</p> <p>①A7003合金押出材の部材位置毎の組織変化と機械的特性の評価をまとめた。再結晶が押出材断面で不均一に生じていることとダイス直前での変形および温度履歴との相関を定性的に説明できるようになった。組織観察の結果は一部を平成30年春期講演会に発表することにした。</p> <p>②押出温度350℃、450℃、570℃で押出製品の各断面の温度変化やひずみ変化について数値シミュレーションを実施して、アブラミ(Avrami)の式による組織予測を適用可能か試みることとした。</p> <p>③コンテナにコーティングを施した押出実験を行い、摩擦係数および製品表面欠陥の調査を行った。</p> <p>④押出材のアルマイト処理を大学側で実施し、表面欠陥の評価技術を向上させるとともに工具コーティングの影響を調査することとした。</p> <p>⑤平成29年6月に開催されたヨーロッパの押出技術会議の動向を調査した。</p>
5	<p>アルミニウム板圧延における表面欠陥研究部会</p> <p>【開催期間】 平成27年4月-平成31年3月末</p>	<p>アルミニウム板製品の表面欠陥についての分類から始まり、発生メカニズムの整理、防止策の検討や事例紹介、また、表面欠陥の検出技術についても議論検討しレベルの向上を図る。最終的には事例集を中心に報告書を作成する。</p>	<p>5回(平成29年4月14日、6月30日、10月6日、12月1日、平成30年2月16日)の研究部会を開催。</p> <p>①操業に対する表面欠陥の影響について、品質維持のため設備停止させる時間・工数の調査を実施。</p> <p>②部会報告書としての表面欠陥事例収集を継続した。</p> <p>③参加各社の技術交流を深めるため、各社圧延工程の見学会を継続。</p>

6	<p>新エネルギー向け表面処理研究部会</p> <p>【開催期間】 平成27年4月-平成31年3月末</p>	<p>新エネルギー分野(太陽、風力、地熱、海洋、シェールガス、メタンハイドレート関連等)向けアルミニウム部材の表面処理について、耐食性、耐候性、耐摩耗性、等の比較調査を行ない、新機能付与の可能性も検討する。環境に配慮した非クロム系処理や自己修復機能を有する塗膜等の最新技術も検討する。</p>	<p>4回(平成29年5月12日、7月25日、10月12日、平成30年1月17日)の研究部会を開催。</p> <p>①耐海水性試験(港湾空港研)、耐アンモニア性(佐賀大海洋研)、耐バイオ燃料性(モレスコテクノ)、耐スケール性(北大・室蘭工大)の4試験に加え、海岸暴露試験(日本パーカー)を開始した。</p> <p>②耐アンモニア性試験では表面処理種や素材品種で耐食性に差があることを確認。</p> <p>③耐バイオ燃料性試験では素材品種で変色に差があるが、著しい腐食発生はなく、表面処理不要が示唆された。</p> <p>④耐スケール性試験は室蘭工大での追試結果踏まえ、試験法を決定。</p> <p>⑤上記、試験実施にあたり、佐賀大学、室蘭工業大学と共同研究契約を締結した。</p>
7	<p>水素と力学特性研究部会</p> <p>【開催期間】 平成27年4月-平成31年3月末</p>	<p>原子状、分子状の水素が5000系、7000系アルミニウム合金の力学特性に及ぼす影響、およびこれらを制御することによる力学的特性改善法などを対象とする。情報交換を通じて力学的特性改善の実現を追求する。</p>	<p>3回(平成29年6月7日、11月21日、平成30年3月28日)の研究部会を開催。</p> <p>①内部講師(4件)による研究成果の報告と討議、および外部講師(3件)の基調講演による専門的知見の調査などを通し、水素と力学特性に関する基礎および最新の研究成果の理解を進めている。今年度は、特に水素の存在状態と拡散機構の評価、新しい水素可視化方法の技術動向、および鉄鋼における水素脆化特性研究の最近の進展に関する内容を取り上げ、理解が深まった。また、これにより各人が担当する研究項目の解析方法や最終的なまとめ方を議論している。さらに、実験施設の見学(茨城大学伊藤研究室、倉本研究室など)も研究会開催に合わせて実施し、この分野の研究に必要な実験設備に関する知見も獲得した。</p> <p>②共通試料として定めた10%Mg-5083合金および10%Zn-7075合金の研究を各所で引き続き実施している。研究成果の中間報告(6月1件、11月2件、3月未定:決定分だけで2件)を行い、研究活動と研究部会でのディスカッションが同時平行になされ、討議内容が各研究に具体的に反映されるようにしている。特に、10%Mg-5083合金のSCC特性、10%Zn-7075合金の水素脆化特性、および同材料の水素直接可視化技術(ケルビンフォース顕微鏡および中性子イメージング)の試行などについて、有意義な報告と議論があった。</p> <p>③中間段階での知見を平成30年5月の第134回春期大会テーマセッションで取りまとめて公表するとともに、会誌「軽金属」平成30年11月号に特集号掲載の準備を進めた。</p>
8	<p>アルミニウムの凝固・微細化・清浄化研究部会</p> <p>【開催期間】 平成27年4月-平成31年3月末</p>	<p>アルミニウムおよびアルミニウム合金の凝固組織の等軸晶化・微細化に関する改めでの検討を通じて、微細化に寄与せずに介在物化するTiB<sub>2</sub>のメカニズム解明を行うとともに、介在物除去研究も行う事で、より高品質な製品製造に寄与する研究を行う。</p>	<p>3回(平成29年4月20日、7月20日、11月2日)の研究部会を開催。</p> <p>①AA-TP1に準拠した微細化能試験と、それをもとにした小規模試験の手順を確立した。</p> <p>②1000系アルミニウムについて、微細化した試料の組織観察を行った。微細化能に及ぼす各種パラメータの影響を調査中。</p> <p>③フラックスのKCl-KF-AlCl<sub>3</sub>-AlF<sub>3</sub>系の熱力学データベースを拡充した。</p> <p>④微細化剤試料の一部について、SPring-8における等軸晶形成過程のその場観察を実施した。</p>
9	<p>異種材料接合・界面研究部会</p> <p>【開催期間】 平成27年4月-平成31年3月末</p>	<p>異種金属、異種材料の新しい接合プロセス、接合材の組織と特性、接合メカニズムの基礎と応用を検討し、評価技術の確立ならびにデータベース化を推進する。</p>	<p>4回(平成29年4月27日、8月2日、11月30日、平成30年3月16日)の研究部会を開催。</p> <p>①異種材料接合に関する研究者から講演形式で以下の4件の話題を提供いただいた。「摩擦重ね接合法等を用いたCFRPと金属の異種材料接合(大阪大学・永塚公彬氏)」、「EAAアルミニウム自動車マニュアルー接合編(神戸製鋼所・櫻井健夫氏)」、「アルミニウムと窒化アルミニウムの真空ろう付におけるろう材Bi量の影響(昭和電工・南和彦氏)」、「超音波接合における異種金属接合部形成過程(東北大学・藤井啓道氏)」。</p> <p>②アルミニウム合金と各種(金属、セラミック、プラスチック、複合)材料の各種接合技術について接合メカニズムに焦点を合わせたデータベース構築中。</p> <p>③異材接合に関するシンポジウムを平成29年9月22日に開催し、6件の話題提供に対して66名の参加者を得た。</p>

			④平成 30 年第 135 回秋期大会でのテーマセッション「先進的異種材料接合・界面技術」開催を計画した。
10	チタンの準安定相・析出相研究部会 【開催期間】平成27年4月-平成31年3月末	チタン中の準安定相・析出相が形成される機構解明、微細組織および諸特性との関係に関する実験的研究、準安定相・析出相形成予測に関する計算材料学的研究を行い、準安定相・析出相制御を通してのチタンの高機能化と低コスト化の可能性を検討する。	3回(平成29年9月15日、12月11日、平成30年3月13日)の研究部会を開催。 ①α+β型 Ti-Nb-O 系合金における組成、組織と機械的特性・冷間加工性の関係が明らかになりつつある。 ②α+β型 Ti-V 系および Ti-Nb 系合金におけるβ相からの準安定相が関与する相変態(β→α', α'', ω)と相分離(α', α''→α+β)に及ぼす酸素の影響を解明した。 ③β型 Ti-Nb-O 系および Ti-V-O 系合金のω相およびα''相形成条件を検討した。 ④ω相形成に及ぼす酸素の影響に関して合金元素が大きな役割を果たしていることが実験および計算により示唆された。 ⑤第一原理計算による有限温度における Ti-O 系合金のα相, β相, ω相の自由エネルギー評価方法を確立した。
11	多機能性材料研究部会 【開催期間】平成27年4月-平成31年3月末	アルミニウムの特徴を活かした多機能材料としての可能性を拡大する。ポーラス化・複合化による課題解決方法、目標とする気孔形態、第二相形態をもつポーラス材料、複合材料の製造プロセスを検討する。	3回(平成29年7月21日、10月30日、平成30年3月9日)の研究部会を開催。機能性材料として進むべき方向性およびその対応方法についての議論を纏めた。 ①あいち産業科学技術総合センターを訪問して、金属 3D プリント装置および放射光施設を見学し、部会研究の参考とした。 ②トポロジー最適化計算、シンクロトロン光を応用した材料解析に関して外部講師による情報収集を行った。 ③共通の要素が高い 3D プリントを用いた軽量構造材料の力学特性に関する情報収集を行った。 ④4年目は 3D 積層造形による共通サンプルを製造して、その特性評価を行う予定である。ラティス構造体を用いた軽量高強度・高剛性材料の試作および特性評価を実施したい。
12	超音波鋳造研究部会 【開催期間】平成27年4月-平成31年3月末	凝固組織微細化効果のある超音波鋳造に関する創造的な研究の発展と早期実用化を図る。世界の研究動向と技術展開に関する知見を得て、装置構成、超音波ホーン要求仕様、超音波処理条件の最適化に向けた現象解明、各種合金に対する超音波効果、凝固組織変化に対する超音波効果の機構を検討する。	3回(平成29年5月15日、9月20日、平成30年1月12日)の研究部会を開催。軽金属学会第 133 回秋期大会においてテーマセッション「超音波鋳造とその関連現象」を開催し、当部会より7名、外部より2名、計9名の講演を行った。 ①超音波処理を利用した溶湯処理(脱ガス、介在物除去)に関する講演・情報交換を行った。 ・「振動鋳造法の実用化検討(副題:超音波による溶湯清浄化)」 ・「超音波によるアルミニウム溶湯脱ガス処理:可能性と限界 研究文献レビュー」 ②超音波関連基礎現象とシミュレーションに関する講演・情報交換を行った。 ・「OpenFOAMを活用した熱物質流動凝固と超音波音響流のモデリング」 ・「アルミニウムのDC鋳造シミュレーションと応用例」 ・「ものづくり教育における超音波の活用」 ・「キャビテーション気泡ダイナミクスと音響流の基礎」
13	異種金属接合部の腐食挙動予測研究部会 【開催期間】平成27年4月-平成31年3月末	車両・建材等の構造部材の鋼/アルミニウム、亜鉛/アルミニウムのような異種金属接合部の腐食挙動を予測する。	4回(平成29年6月30日、7月28日、12月4日、平成30年3月30日)の研究部会を開催。 ①アルミニウム合金/鋼材からなる異種金属接合部の腐食挙動について、アルミ材側の腐食挙動や腐食現象そのものの複雑性から、シンプルな腐食系における実試験(浸漬、SST、CCT)の追試を行い、腐食のシミュレーション結果との対応性の確認を実施した。 ②アルミニウム、その合金材の腐食挙動(浸漬条件、大気腐食環境)に関する電気化学的パラメータのデータベースが不十分であるため、電気化学パラメータを収集し、データベース整備することが課題であり、現在進捗している。
14	汎用型高性能マグネシウム合金研究部会 【開催期間】平成27年4月-平成31年3月末	資源偏在性の少ない元素により構成される汎用マグネシウム合金を対象として、高強度・高延性、生産性、信頼性(腐食・接合性・難燃性等)を加味した合金設計指針の検討を行う。発火特	4回(平成29年4月14日、8月3日、11月24日、平成30年3月8日)の研究部会を開催。 ①展伸材の研究 AZ31 集合組織制御材、AZ31O、AZ31F、AT31、AZX311、AZX311改、ZE10、5052(H32)の曲げ試験が完了し、上記合金の室温～温間域における曲げ成形性(温度依存性)、曲げ試験前後の組織観察結果をまとめた。5052はO材で再評価を検討する。変形メカニズムを明らかにするため、非底面すべりの有無を評価する手法について議論の上、(10-10)面集合組織の変化により柱面の活動の有無を評価することとした。

		性・室温成形性を改善するプロセス技術検討、計算科学を利用した合金設計法、プロセス予測法を検討する。	IGMA 解析についても実施を検討することとした。 ② 鑄造材の研究 2 回目の試験(AZX311 の長時間溶解・保持試験)を実施した。AZ31(72h 保持)の結果と比較して、AZX311(69h 保持)に関しては、溶湯表面への分厚い皮膜の生成、TP 鑄造の際の少々の発火、溶湯の粘性上昇、炉底からのスラッジ(沈殿物)が確認された。試験後のサンプルの評価(溶解・保持前後の組成、水素・酸素分析、耐食性)を実施することとした。 ③ 部会成果の外部発表 平成 30 年秋期大会にテーマセッションを設けて部会の成果を発表することとした。
15	冷間／熱間加工工程における組織形成予測部会  【開催期間】 平成 27 年 4 月 - 平成 31 年 3 月末	前部会で活用した同志社大学仲町先生のコードを更に発展させ、我が国独自のアルミ製造技術に貢献できる材料組織形成シミュレーションの構築を目指す。なお、製造現場に即した課題抽出も行い、製造プロセスへの適用も検討する。	4 回(平成 29 年 4 月 19 日、8 月 28 日、12 月 13 日、平成 30 年 3 月 16 日)の研究部会を開催。 ① 冷間圧延における結晶方位発展を簡易に計算する手法を新たに提案した。 ② 1050-1%Mn 合金および 4N-1%Mn 合金における熱間圧縮時の析出物の特定を行なった。 ③ 逆解析を用いた流動応力同定に必要な圧縮試験における摩擦の影響の理論的評価方法の検討、および熱間圧延における析出挙動の微視的観察を行なった。 ④ あいちシンクロトロン光センターにおける第 2 回実験において、対象材(4N-1%Mn 合金)熱間平面ひずみ圧縮後試験片の金属間化合物の同定を検討した。 ⑤ Spring8 における対象材(1050-1%Mn 合金および 4N-1%Mn 合金)における析出物サイズおよび体積率などの同定を目的とした測定手段の検討を行なった。 ⑥ 高純度単結晶について画像解析引張試験を行い、降伏応力測定および試験片表面のひずみ分布変化を調査し、結晶塑性パラメータの同定法を検討した。
16	アルミニウムのトライボロジー研究部会  【開催期間】 平成 27 年 10 月 - 平成 31 年 3 月末	アルミニウム圧延でのロールコーティング生成におよぼす影響因子の解明を目的に、摩擦摩耗試験を用いた工具と Al の凝着現象研究や、純 Al 系材質と Al-Mg 合金系材質でのロールコーティングの生成挙動の比較を行う。	4 回(平成 29 年 7 月 24 日、10 月 27 日、12 月 12 日、平成 30 年 3 月 13 日)の研究部会を開催。 ① テスト圧延機緊急停止法で作成したサンプル、ロールの詳細観察(SEM、EDS)を実施し、ロール側の観察から、材料のロールバイト入、出ではコーティングの付着状況が異なり、入側では 1 $\mu$ m 以下のアルミ粉がロール凸部に多く付着。出側ではアルミ粉が凝集した様相。アルミ以外の元素は検出されなかった。 ② 起点らしき部位の断面観察を実施予定。 ③ 油種によりコーティング状況の差異を目視では確認された。

#### [5] 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第 4 条第 1 項第 5 号)

##### 1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、(1)および(7)1)を平成 29 年 5 月開催の第 132 回春期大会にて、(2)～(5)および(7)2)を平成 29 年 11 月開催の第 133 回秋期大会にて表彰を行った。(6)については、平成 30 年 2 月末に表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など相応しい時期に表彰を託した。(9)軽金属学会企業奨励賞は各支部で表彰を行った。

##### (1) 平成 29 年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞表彰

前年度の軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会で選考され、理事会で承認された下記 3 名を表彰した。

- |                   |                |         |
|-------------------|----------------|---------|
| 1) 第 20 回軽金属学会賞   | 名古屋大学 名誉教授     | 金武 直幸 君 |
| 2) 第 19 回軽金属学会功労賞 | (株)神戸製鋼所 技術部主査 | 櫻井 健夫 君 |
| 3) 第 15 回軽金属功績賞   | 広島工業大学 教授      | 日野 実 君  |

##### (2) 平成 29 年度軽金属論文賞・論文新人賞

佐藤英一推薦委員長のもとで論文賞対象論文 42 編の内 9 編、新人賞対象論文 14 編の内 6 編の論文を推薦し、久保田正広選考委員長のもとで 3 編(16 名)の論文賞、3 名の新人賞を選考した。

##### 1) 論文賞

##### ① 「Al-Mg-Si 合金の再結晶挙動に及ぼすスカンジウムとジルコニウム添加の影響」

北海道大学	第 66 卷 11 号(2016) 609-616 掲載
九州大学(現: JFE スチール(株))	池田 賢一 君
九州大学(現: (株)神戸製鋼所)	高下 拓也 君
	秋吉 竜太郎君



- 九州大学 波多 聡 君  
九州大学 中島 英治 君  
九州大学 山田 和広 君  
九州大学 金子 賢治 君
- ②「超微細粒アルミニウムの低温領域におけるクリープ機構」 第 67 巻 6 号(2017) 228-233 掲載  
宇宙航空研究開発機構(現:(株)富士通ゼネラル) 比金 健太 君  
東京大学 増田 紘士 君  
宇宙航空研究開発機構 戸部 裕史 君  
首都大学東京 北蘭 幸一 君  
宇宙航空研究開発機構 佐藤 英一 君
- ③「Mechanism of Intergranular Corrosion of Brazed Al-Mn-Cu Alloys with Various Si Content」  
Materials Transactions, Vol.58, No.5(2017) 768-775 掲載  
三菱アルミニウム(株) 吉野 路英 君  
三菱アルミニウム(株) 岩尾 祥平 君  
三菱アルミニウム(株) 江戸 正和 君  
三菱マテリアル(株) 千葉 一 君

2)論文新人賞

- ①「超塑性 Al-Mg-Mn 合金における連続動的再結晶の初期過程」 第 67 巻 4 号(2017) 95-100 掲載  
宇宙航空研究開発機構(現:(株)神戸製鋼所) 金澤 孝昭 君
- ②「超微細粒アルミニウムの低温領域におけるクリープ機構」 第 67 巻 6 号(2017) 228-233 掲載  
宇宙航空研究開発機構(現:(株)富士通ゼネラル) 比金 健太 君
- ③「Al-5mass%Mg 合金の半凝固状態における粘塑性の冷却速度依存性の予測と実験的検証」  
第 67 巻 6 号(2017) 214-221 掲載  
早稲田大学大学院(現:ホンダエンジニアリング(株)) 広原 嶺 君

(3)第 52 回小山田記念賞

松田健二選考委員長のもと、応募技術 2 件について検討の結果、当該技術 1 件を選考した。  
「2ピースアルミニウム製リシーラブルDI容器の開発と実用化」  
武内プレス工業(株)

村上 博文 君、浅井 吉夫 君  
田中 成典 君、加納 義範 君  
久米 治 君

(4)第 40 回高橋記念賞

荒木秀樹選考委員長のもと、各支部からの推薦 3 件について選考委員による書面審査の結果、3 名を選考した。  
日産自動車(株) 菊地 恵二 君  
(株)UACJ 藤枝 馨 君  
YKK AP(株) 吉田 均 君

(5)軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞

戸次洋一郎選考委員長のもと、3 つの賞について審議し、躍進賞は応募 8 名の候補者のうち 3 名を、奨励賞は 6 名の候補者のうち 3 名を、女性未来賞は候補者 1 名を選考した。

- 1)第 16 回軽金属躍進賞 北海道大学 池田 賢一 君  
東北大学 佐藤 裕 君  
熊本大学 山崎 倫昭 君
- 2)第 35 回軽金属奨励賞 (株)神戸製鋼所 志鎌 隆広 君  
新居浜工業高等専門学校 當代 光陽 君  
東北大学 平木 岳人 君
- 3)第 9 回軽金属女性未来賞 神戸大学 池尾 直子 君

(6)平成 29 年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦 30 名について、総務委員会による二次選考の結果、30 名全員を選考した。

所 属	氏 名	所 属	氏 名
旭川工業高等専門学校専攻科	永井 かなえ君	東京工業大学大学院	大塚 一帆 君
北海道大学大学院	松本 敏幸 君	東京工業大学大学院	毛戸 康隆 君
東北大学大学院	大宮 正仁 君	横浜国立大学大学院	小畑 智靖 君
日本大学大学院	石井 康夫 君	早稲田大学大学院	武藤 大輝 君
日本大学大学院	勅使河原圭介君	富山大学大学院	黒田 泰孝 君
首都大学東京大学院	杉山 嘉一 君	名古屋大学大学院	國司 寛人 君
茨城大学大学院	青島 翔平 君	名古屋工業大学大学院	高山 滉平 君
茨城大学大学院	小野瀬航平 君	名古屋工業大学大学院	谷合 秀介 君
茨城大学大学院	坂岡 優也 君	関西大学大学院	今村 昌仁 君
茨城大学大学院	井出 一平 君	関西大学大学院	藤田 智香 君
群馬大学大学院	松下 駿人 君	神戸大学大学院	南 久遠 君
千葉大学大学院	佐々木雅史 君	大阪府立大学大学院	兵頭 由起 君

芝浦工業大学大学院	綱川 美佳 君	香川高等専門学校専攻科	福井 貴大 君
芝浦工業大学大学院	横溝 哲也 君	九州大学大学院	徳永 隼人 君
山梨大学大学院	保坂 泰斗 君	九州大学大学院	藤原 比呂 君

(7)優秀ポスター発表賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈る賞で、今年度は以下の通り春期大会で 10 名、秋期大会で 13 名を表彰した。

1)第 132 回春期大会

題 目	所 属	氏 名
ピロリン酸アノード酸化による超親 水/超撥水アルミニウム表面の創製	北海道大学(院)	中島 大希 君
純 Al 単結晶マイクロピラーの強度に及ぼす試験片寸法の影響	名古屋大学(院)	竹安崇一郎 君
微細格子描画を用いた Al/Mg/Al クラッド薄板材の超塑性変形挙動調査	北海道大学(学)	徳永 透子 君
Al-25%Si 合金を用いた薄肉ヒートシンクモデルの放熱特性に対するフィン高さとベース厚さの影響	大阪工業大学(院)	寺尾 勝 君
硫酸を用いたアルミニウムドロス残灰 の改質処理	東北大学(院)	吉田 実生 君
酢酸塩被膜付与 Zn シートを用いた A1070 の液相拡散接合	群馬大学(院)	小澤 昂平 君
表面親水性・疎水性を制御した生体材料 Ti のタンパク質吸着量と骨伝導能	名古屋大学(院)	森 祐輔 君
結晶塑性解析における解析モデルが材料パラメータに及ぼす影響	山形大学(院)	神田 朋哉 君
Al-2.5Li-(2.0Mg)合金の時効挙動に対する HPT 加工の影響	富山大学(院)	灰塚 裕平 君
塩水環境下における Ca 添加難燃性マグネシウム合金の腐食速度の算出	芝浦工業大学(院)	綱川 美佳 君

2)第 133 回秋期大会

題 目	所 属	氏 名
7075 アルミニウム合金のセレーション挙動に及ぼす自然時効の影響	防衛大学校(院)	上 剛司 君
A7075 における引張変形中の転位密度変化に及ぼす析出相の影響	兵庫県立大学(院)	岩田 晃一 君
Mg-Y 合金の 473K 時効過程における Se 添加の影響	富山大学 (院)	平木 智也 君
単結晶を用いた β 型 Ti-Mn 合金の変形挙動に及ぼす Mo 添加の影響の解明	大阪大学(院)	森岡 亮太 君
縦型高速双ロールキャスト材より作製した Al-1~4wt%Mn 合金板の再結晶挙動	東京工業大学(院)	大塚 一帆 君
水中連続摩擦で水素導入した 6061 アルミニウム合金の機械的特性に及ぼす Fe 添加の影響	大阪大学(院)	松原 拓哉 君
Cu を添加した Al-Si-Mg 鑄造合金の熱疲労挙動に影響を及ぼすマイクロ組織の解析	芝浦工業大学(院)	イム ユンス君
蒸気コーティング法による Al-Zn-Mg 合金上への複合水酸化物皮膜の作製と耐食性評価	芝浦工業大学(院)	横溝 哲也 君
アルミニウム OCC 線材の凝固組織に及ぼす Ti 添加量と鑄型温度の影響	千葉工業大学(院)	阿尻 優也 君
種々の Mg、Si、Cu 組成の Al-Mg-Si 合金の耐湿潤ガス応力腐食割れ特性	茨城大学(院)	秋篠 亮太 君
β 型チタン合金の圧縮変形挙動の TEM 内その場観察	茨城大学(院)	小野瀬航平 君
走査型プローブ顕微鏡を用いた Ca 添加難燃性 Mg 合金の腐食挙動の解析	芝浦工業大学(院)	嶋田 雄太 君
高 Al 含有 TRC マグネシウム合板材の熱間鍛造特性	東京電機大学(学)	戸塚 穂高 君

(8)平成 30 年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞

伊藤吾朗選考委員長のもと、3 つの賞について審議の結果、学会賞は 1 名を、功労賞は 6 名の候補のうち 3 名の候補者を、功績賞は 2 名の候補者をそれぞれ下記のとおり選考した。表彰は平成 30 年 5 月開催の第 134 回春期大会にて行われる。

1)第 21 回軽金属学会賞	九州大学主幹教授	堀田 善治 君
2)第 20 回軽金属学会功労賞	日本軽金属(株)技術顧問、日本大学上席研究員	塩田 正彦 君
	日本軽金属ホールディングス(株) 常勤監査役	土田 孝之 君
	(株)UACJ 技術開発研究所	
	研究企画業務部研究企画室 上席主幹	村松 俊樹 君
3)第 16 回軽金属功績賞	東京工業大学物質理工学院准教授	寺田 芳弘 君
	弘前大学大学院理工学研究科教授	佐藤 裕之 君

(9)平成 29 年軽金属学会企業奨励賞

本賞は平成 26 年度より支部表彰していたものを平成 28 年度より本部表彰とするもので、各支部における軽金属に関する研究、技術開発、商品開発等において優れた業績を残した維持会員に贈る賞で、下記の通り、支部推薦の 2 社を表彰した。

(株)真壁技研	東北支部
(株)西居製作所	関東支部

[6]その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第 4 条 1 項第 6 号)

1. 人材育成

本部において、昨年同様、大学オープンキャンパスへの軽金属製品の供与・貸与事業を実施し、小中高生、教師、父兄への軽金属製品啓蒙を行った。今回は日本アルミニウム協会の協力を得て、子供向け学習教材「アルミなるほどミュージアム」冊子300部供与、アルミニウム、マグネシウム、チタン、銅、ステンレス、樹脂の6種類の重量比較サンプル供与を追加し、

28校に製品提供を行い、各校の開催報告記事「はぐくむ」を会誌、HPに掲載した。この他、日本産業技術教育学会が主催する第20回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテスト(静岡大学)で軽金属材料を利用した中学生の1作品を表彰した。本事業は平成19年から実施し、これまで9作品(個人・団体)を表彰している。

また、各支部においても、学生会員を対象とした講演会、ポスター発表、見学会など、若手人材育成に関わる事業を実施した。

## 2. 若手の会、女性会員の会

### (1) 若手の会

第32回会合：第132回春期大会第2日目(5月21日)に実施。参加者40名(うち学生3名)。話題提供と質疑応答。

第12回若手育成のための合同会合：第132回春期大会前日に実施。参加者16名。

第33回会合：第133回秋期大会第2日目(11月5日)に実施。参加者35名(うち学生13名)。話題提供と質疑応答。

第13回若手育成のための合同会合：第133回秋期大会前日に実施。参加者21名。

第1回研究交流会：第133回秋期大会前日に実施。参加者26名(うち学生3名)。6件の講演発表による研究交流。

### (2) 女性会員の会

第22回会合：第132回春期大会第1日目(5月20日)に実施。参加者21名(女性17名、男性応援4名)。

第13回託児室設置：第132回春期大会中に実施。利用者なし。

第23回会合：第133回秋期大会第1日目(11月4日)に実施。参加者26名(女性22名、男性応援4名)

第14回託児室設置：第133回秋期大会中に実施。利用者なし。

## 3. 中堅企業R&D支援

二次加工業界の多くを占める中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業R&D支援プログラム」の一環として、無料講演会、イブニングセミナー、相談会、出前講座などの行事を各支部で実施した。東北、関東支部では優れた技術開発を実施した維持会員企業を表彰する軽金属学会企業奨励賞授与を行った。本部では軽金属セミナーを録画したDVDの無料貸出を実施し、会員サービス向上による会員基盤増強を図った。また、春秋講演大会においては、ユーザー企業参加促進策として企業交流会を実施し、日本アルミニウム協会賞受賞企業の講演発表、開発製品展示を行い、技術交流、人材交流の場を提供した。名古屋大学で開催された春期大会では東海地区企業4社が、宇都宮大学で開催された秋期大会では宇都宮地区企業5社がそれぞれ企業交流会に参加し交流が行われた。

## 4. 支部活動

### (1) 北海道支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 支部理事会、支部評議員会(1回) 2.講演会等 ①アルミ製品製造の高度化技術講演会(苫小牧) ②支部講演大会(室蘭工業大学) ③招待講演 ④支部講演会 3.人材育成 ①若手講演会 4.表彰関係 ①支部若手優秀講演賞 ②企業奨励賞表彰 ③軽金属希望の星賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①無料講習会 ②道総研工業試験場年次報告会「技術移転フォーラムー工業試験場成果発表会」にて学会パンフレットを配付	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 2回開催：平成30年1月25日、3月6日 2.講演会等 ①2回実施：平成29年11月14日、30日 ②平成29年4月21日開催 ③2.①および5.①と兼ねて実施 ④2.①および5.①と兼ねて実施 3.人材育成 ①実施なし 4.表彰関係 ①1名受賞 ②推薦なし ③2名推薦、2名受賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①2.①、③および④と兼ねて開催 ②平成29年5月31日配付 平成29年11月30日配付 1社維持会員入会予定
特記事項) 2. ①アルミ製品製造の高度化技術講演会「北海道アルミニウム利用技術研究会」と共同開催 第1回「2017年度アルミニウム技術講演・現場指導会」(苫小牧市テクノセンター) 外部講師を招いた座学と企業への訪問個別指導を実施。延べ9社29名参加 第2回「自動車部品関連技術勉強会」(札幌工業高校)5社12名参加 自動車部品製造参入を目指す企業向けに、外部講師を招いた座学と分解実習を実施。 ②支部講演大会 日本鑄造工学会北海道支部と合同開催。次年度から金属学会北海道支部の協賛 ・全講演11件中、7件が軽金属関連 ・平成29年度から「支部学生優秀講演賞」を新設 外本和嗣君(北海道大大学院)が受賞	

**(2)東北支部**

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①役員会(2回)  2.講演会等 ①主催講演会(2回)  ②共催行事(5回)  3.人材育成  4.表彰関係 ①学会賞、功労賞 ②躍進賞、奨励賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④軽金属希望の星東北支部賞支部選考、表彰  5.維持会員加入勧誘活動 訪問活動継続	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①第1回 平成29年11月15日開催 第2回 平成30年3月9日開催  2.講演会等 ①第1回東北支部講演会・イブニングセミナー 平成30年3月9日 ②第1回平成29年5月26日 第2回平成29年9月25日  3.学生対象のポスターセッション開催、 学生の聴講(第2回講演会)  4.表彰関係 ①功労賞2名推薦、 ②各1名推薦、受賞 ③2名推薦、受賞 ④なし  5.維持会員加入勧誘活動 (株)真壁技研殿入会 支部推薦による軽金属学会企業奨励賞受賞
<b>特記事項)</b> 2.①第1回東北支部講演会およびイブニングセミナー「アルミニウムの casting・凝固」 講師 日軽エムシーアルミ(株) 執行役員開発部長 堀川 宏 氏 秋田大学大学院理工学研究科 助教 後藤育壮 氏 東北大学大学院環境科学研究科 助教 山本卓也 氏 北海道大学大学院工学研究院 准教授 大参達也 氏  2.②第1回:平成29年度 青森表面技術講演会 後援 八戸工業高等専門学校(八戸) 講師 奥野製薬工業(株) 取締役・総合技術研究所長 大塚邦顯 氏 小島化学薬品(株) 取締役 渡邊秀人 氏 JX 金属商事(株) 理事・高槻工場長 珍田 聡 氏  2.②第2回:東北大学金属材料研究所共同研究ワークショップ・日本バイオマテリアル学会東北ブロック講演会「バイオマテリアル研究 東北地区交流会」共催 東北大学金属材料研究所(仙台) 講師 東北大学 正橋直哉教授、岩手医科大学 武本真治教授、山形大学 山本修教授、 東北大学 山本雅哉教授、東北大学 江草宏教授 学生ポスター発表(ショートプレゼン+ポスター発表、優秀ポスター賞4件表彰)  3.上記 2.②共催行事において、若手支援助成金を申請。東北地区学生によるポスター発表の開催および東北地区の学生を招待し、招待講演5件およびポスター発表を聴講させた。  5.軽金属学会企業奨励賞授賞式および受賞講演 平成30年3月9日 「アルミ合金鑄造物用革新的組織微細化剤の創製と生産プロセス開発」 (株)真壁技研 開発部長 福田泰行 氏	

**(3)関東支部**

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 支部運営委員会(4回) 場所:東京工業大学大岡山キャンパス 場所:東京工業大学田町キャンパス 第3回  2.講演会等 ①第133回秋期大会(宇都宮大学)の実行援助 ②工場見学会(1回)  3.人材育成 ①若手研究者育成研修会, 工場見学会  4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①第1回 平成29年4月18日 出席者13名 ②第2回 平成29年8月21日 出席者15名 ③第3回 平成29年12月11日 出席者12名 ④第4回 平成30年3月5日 出席者11名  2.講演会等 ①実行委員会に参画 ②平成29年12月5日 参加者36名 場所:日本軽金属(株)蒲原製造所、 アルミニウム線材(株)  3.人材育成 ①日時:平成29年8月27、28日 参加者37名 場所:日光総合会館 (株)神戸製鋼所 真岡製造所  4.表彰関係 ①1名推薦し、1名受賞 ②1名推薦し、1名受賞 ③15名推薦し、15名受賞

④軽金属学会企業奨励賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①セミナーや訪問活動を継続	④(株)西居製作所殿受賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①(株)西居製作所殿入会
特記事項) 3.①平成 29 年度(第 4 回)若手研究者育成研修会 参加者:若手研究者 23 名(企業 6 名、学生 17 名)、関東支部運営委員 13 名(企業 5 名、学側 8 名) 若手研究者講演発表件数:23 件 特別講演 1 件:「自動車部品の軽量化とくるまの燃費向上」 日本軽金属(株) 塩田正彦氏	

#### (4)北陸支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①定例幹事会  2. 講演会等  3. 人材育成 ①幹事研修会  ②若手育成支援事業 4. 表彰関係 ①高橋記念賞 ②軽金属功労賞 ③軽金属希望の星賞 5. 維持会員加入勧誘活動	1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①第 1 回平成 29 年 4 月 19 日 第 2 回平成 29 年 9 月 15 日 2. 講演会 ①春期 平成 29 年 6 月 22 日、富山大学 ②秋期 平成 29 年 11 月 16 日、高岡 JA 会館 3. 人材育成 ①平成 29 年 11 月 24、25 日 石川工業試験場、谷田合金(株) ②工場見学会 4. 表彰関係 ①1 名推薦 ②1 名推薦 ③1 名推薦 5. 維持会員加入勧誘活動 春秋講演会開催時に実施
特記事項) 2.①春期講演会 招待講演・企業発表 ①「Al-Mn 系合金の熱間圧延時の再結晶挙動に及ぼす合金成分の影響」(株)神戸製鋼所 山口正浩 ②「ミュオンスピン緩和法と磁化測定による Al-Mg-Si の熱処理効果」 富山大学大学院 西村克彦 ③「容器用実用アルミ材の耐食性および腐食反応解析に関する研究」 武内プレス工業(株) 深川裕之 2.②秋期講演会 招待講演・企業発表 ①「アルミに適用可能な接合技術」 (株)UACJ 福田敏彦 ②「構造用材料の溶接および溶接機について」 (株)ダイヘン 恵良哲生 ③「飲料缶蓋のリベット形状に及ぼすアルミニウム合金板諸特性の影響」 (株)UACJ 森 亮太 3.②若手育成支援事業 工場見学会 平成 29 年 10 月 16 日:大平洋製鋼(株)、(株)アライドマテリアル 平成 29 年 10 月 18 日:(株)八尾キタノ製作、サンエツ金属(株) 平成 29 年 11 月 1 日:YKKAP(株) 平成 29 年 11 月 2 日:JTECT 亀山工場、日本ニードルローラー製造(株) 平成 29 年 12 月 5 日:三協立山(株)三協マテリアル社、(株)TAN-EI-SYA 協賛事業 ①日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部 平成 29 年 7 月 6 日、12 月 2 日 ②日本ノルウェー・アルミニウム合金シンポジウム 平成 29 年 4 月 28 日他。 ③富山大学物性と先端材料応用に関する国際会議(ICPMAT) コシツエ工科大学、スロバキア 平成 29 年 8 月 6 日～9 日 ④富山大学材料研究会 第 51 回:平成 29 年 10 月 5 日、 第 52 回:平成 30 年 2 月 8 日 ⑤富山大学第 3 回先端材料研究国際連携フォーラム 平成 29 年 10 月 12 日(軽金属学会軽金属ワークショップ共催)	

#### (5)東海支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①総会 ②理事会(3 回)(但し 1 回は運営委員会と兼ねる)  ③春期大会実行委員会(数回)	1.総会・理事会・運営委員会等 ①平成 29 年 4 月 27 日 名古屋工業大学 ②第 1 回 平成 29 年 6 月 16 日 名古屋大学 第 2 回 平成 29 年 10 月 4 日 (株)UACJ 第 3 回 平成 30 年 3 月 9 日 名古屋大学 ③第 3 回 平成 29 年 5 月 8 日 名古屋大学

<p>2.講演会等</p> <p>①講演会(1回)</p> <p>②研究部会(航空機材料部会、プレス加工部会)</p> <p>3.人材育成</p> <p>①若手ポスター発表会</p> <p>②若手の会(軽進会)</p> <p>③女性会員の会</p> <p>④中・高生向け工場見学会</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①軽金属学会企業奨励賞</p> <p>②高橋記念賞</p> <p>③軽金属希望の星賞一次選考 推薦</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動</p> <p>①支部セミナー</p> <p>②TECH BIZ 2017 支部活動展示、講演会</p>	<p>春期大会 平成 29 年 5 月 20-21 日 名古屋大学</p> <p>2.講演会等</p> <p>①平成 29 年 4 月 27 日 名古屋工業大学</p> <p>②航空機材料部会 (株)UACJ</p> <p>第 1 回勉強会 平成 29 年 5 月 11 日</p> <p>第 2 回勉強会 平成 29 年 10 月 12 日</p> <p>第 3 回勉強会 平成 30 年 3 月 27 日</p> <p>プレス加工部会 都合により今年度中止</p> <p>3.人材育成</p> <p>①平成 29 年 11 月 16 日 名古屋工業大学 金属学会・鉄鋼協会との共催</p> <p>②工場見学会:見学先の辞退により中止</p> <p>③平成 29 年 10 月 23 日 ムツミ工業(株)見学 は台風により中止。</p> <p>④平成 30 年 3 月 26 日 (株)UACJ、MRJ ミュージアム見学</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①推薦なし</p> <p>②1 件推薦、受賞</p> <p>③3 件推薦、3 件受賞</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動</p> <p>①平成 29 年 9 月 26 日 名古屋市工業研究所 講演 3 件、相談会 参加者 25 名、維持会員 9 社、非会員 10 社</p> <p>②平成 29 年 11 月 15-17 日 吹上ホール 展示会 講演会、</p>
---	--

特記事項)		
2.①第 1 回講演会 テーマ「バイオメティクスによる軽金属研究の展開」		
「生物たちの超技術、-複合材料創生のヒント-」	静岡理科大学	志村史夫
「アルミナ金型を用いた蛾の目構造を有するモスアイ型反射防止フィルムの製造技術」	三菱レイヨン(株)	魚津吉弘
「超撥水 蓮の葉構造を利用:トータルロータス・アート型枠のご紹介」	東洋アルミニウム(株)	西川浩之
5.①支部セミナー テーマ「アルミニウム合金の接合の基礎と具体的事例」		
「アルミニウム合金の基礎(各種アルミニウム合金とその特徴)」	(株)UACJ	則包一成
「アルミニウム合金の接合の基礎」	(株)神戸製鋼所	松本 剛
「アルミニウム合金の接合の具体的事例(接合に関する製品への適用事例紹介)」	(株)坂口製作所	坂口清信
②TECH Biz 2017 テーマ「ものづくりを支える軽金属の高機能化技術～表面技術を中心に～」		
「軽金属の表面処理技術と Ti,Mg 合金の生体材料への応用」	名古屋大学	興戸正純
「自動車材用アルミニウム板へのプレコートによる接着耐久性及び潤滑性向上」	(株)神戸製鋼所	太田陽介
「アルミニウムと樹脂の一体成形の接合メカニズム」	日本軽金属(株)	遠藤正憲
「マグネシウム合金用の表面処理技術」	産業技術総合研究所	中津川 勲

(6)関西支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合
①支部理事会(2回)	①支部理事会 第 1 回平成 29 年 4 月 11 日開催 第 2 回平成 30 年 1 月 12 日開催
②支部幹事会(2回)	②支部幹事会 ①と同日開催
2.講演会等	2.講演会等
①支部シンポジウム	①「軽金属学会関西支部シンポジウム」 日時:平成 29 年 9 月 15 日 会場:関西大学 千里山キャンパス 参加者数:30 名
3.人材育成	3.人材育成
①関西軽金属サマースクール	①「関西軽金属サマースクール」 日時:平成 29 年 9 月 15 日 会場:関西大学 千里山キャンパス

<p>②若手研究者院生による研究発表会</p> <p>③大学院生フィールドワーク助成プログラム</p> <p>④出前講座 (軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①軽金属功労賞 ②軽金属奨励賞 ③軽金属女性未来賞 ④軽金属希望の星賞一次選考 ⑤企業奨励賞</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 企業訪問活動継続</p>	<p>参加者数:35名</p> <p>②「若手研究者・院生による研究発表会」 日時:平成29年12月22日 会場:神戸大学 百年記念館 参加者数:94名</p> <p>③「大学院生フィールドワーク助成プログラム」 場所:神戸製鋼所、昭和電工、東洋アルミニウム 参加:大阪工業大学、大阪大学、関西大学 平成29年12月22日に開催された「若手研究者・院生による研究発表会」において成果を発表した。</p> <p>④「出前講座」 日時:平成30年3月27日 会場:堺市産業振興センター 定員:30名</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①推薦なし ②推薦 當代光陽君受賞 ③推薦 池尾直子君受賞 ④4名推薦、受賞 ⑤推薦なし</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 継続的に勧誘している。 堺市の中小企業向けに出前講座開催</p>
--	--

<p>特記事項)</p>		
<p>2. ①軽金属学会関西支部シンポジウム</p> <p>「アルミニウム合金の異種金属接合」</p> <p>「摩擦攪拌点接合によるアルミニウム合金および鋼/アルミニウム合金の接合」</p> <p>「アルミ合金の接合部の腐食」</p> <p>3. ①関西軽金属サマースクール</p> <p>「アルミニウムにおける放射光 In-situ 測定を用いた引張変形中の転位密度変化の測定」</p> <p>「アルミニウム発泡体の動的変形特性」</p> <p>3. ②若手研究者・院生による研究発表会</p> <p>・学生口頭発表 (発表15 + 質疑5分)</p> <p>「チタン合金のホットスピニング成形技術の開発」</p> <p>「線材用単鋳造輪キャスターの試作」</p> <p>「超高純度アルミニウム合金の粒成長挙動に及ぼす添加元素の影響」</p> <p>「放電プラズマ焼結法を応用した純チタンへの炭素およびホウ素の同時拡散浸透処理」</p> <p>「超微細粒 Mg-Y 合金の力学特性」</p> <p>「高温高速せん断変形させた Al-Mg 合金の組織変化に及ぼすシリコン添加の影響」</p> <p>・企業による技術紹介</p> <p>「高熱伝導・高強度アルミ板材 ST60—HSM®の開発」</p> <p>・ポスターセッション (49件)</p> <p>・特別講演</p> <p>「Ti-Ni 形状記憶合金の母相の安定性と等温マルテンサイト変態」</p> <p>3. ④出前講座(軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)</p> <p>品質で差別化を図るセミナー ～マグネシウム・チタン材料を使いこなす～</p> <p>第1部 「マグネシウム材料を使いこなす ～変形機構の基礎・最新の研究事例の紹介～」</p> <p>第2部 「チタン材料を使いこなす～チタン材料の応用事例～」</p>	<p>大阪大学</p> <p>川崎重工業(株)システム技術開発センター</p> <p>(株)IHI 基盤技術研究所</p> <p>兵庫県立大学</p> <p>大阪大学</p> <p>川崎重工(大阪大学院生)</p> <p>大阪工業大学</p> <p>大阪府立大学</p> <p>関西大学</p> <p>京都大学</p> <p>神戸大学</p> <p>昭和電工(株)</p> <p>大阪大学</p> <p>大阪大学</p> <p>奈良精工(株)</p>	<p>小椋 智</p> <p>小林良崇</p> <p>中山 元</p> <p>足立大樹</p> <p>谷垣健一</p> <p>今村嘉秀</p> <p>三宅泰誠</p> <p>兵頭由起</p> <p>刈本天斗</p> <p>瓦田一郎</p> <p>南 久遠</p> <p>籠重貞二</p> <p>掛下知行</p> <p>萩原幸司</p> <p>中川博央</p>

(7)中国四国支部

計画	実施状況
<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 役員会</p> <p>2.講演会等</p> <p>①第9回支部講演大会(愛媛大学)</p>	<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 第1回:平成29年7月29日 愛媛大学</p> <p>2.講演会等</p> <p>①平成29年7月29日開催</p>

<p>②研究会(2回)</p> <p>3.人材育成 ①若手フォーラム</p> <p>4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④支部賞(奨励賞、優秀講演賞、研究・開発奨励賞)選考・授与</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 ①公設試を利用した講演会開催 ②訪問活動継続</p>	<p>発表件数 36 件, 参加者数 66 人</p> <p>②第 1 回 支部研究会 広島大学 平成 29 年 6 月 16 日開催 第 2 回 支部研究会 広島工業大学 平成 30 年 1 月 26 日開催</p> <p>3.人材育成 ①平成 29 年 12 月 19 日開催</p> <p>4.表彰関係 ①推薦なし ②推薦なし ③1 名推薦、受賞 ④支部講演大会にて、優秀講演賞 9 件受賞、研究・開発奨励賞 2 件受賞、技術賞 1 件受賞、奨励賞 14 件受賞。</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 ①中堅企業支援セミナー 平成 30 年 1 月 26 日開催</p>
---	--

<p>特記事項)</p>		
<p>2. ②第 1 回 支部研究会「高比強度合金の開発動向」</p> <p>「Al-Si 系合金の結晶粒微細化と時効析出挙動」</p> <p>「高機能難加工材の製造・先端加工システム開発による革新的ものづくり研究拠点の紹介」</p> <p>「アルミニウムおよびマグネシウム材料および鋳造工法の最新動向と車両軽量化への役割」</p> <p>「汎用熱処理型易加工性展伸用マグネシウム合金の創製 ―塑性加工プロセス・熱処理、ナノ・マイクロ組織、特性関係の視点から―」</p>	<p>岡山理科大学</p> <p>広島大学</p> <p>富山大学</p> <p>長岡技術科学大学</p>	<p>中川恵友</p> <p>松木一弘</p> <p>才川清二</p> <p>鎌土重晴</p>
<p>2. ②第 2 回 支部研究会・中堅企業支援セミナー「自動車軽量化技術の開発動向」</p> <p>「マグネシウム合金への環境調和型陽極酸化処理とその特性」</p> <p>「チクソモルディングの自動車部品への適用」</p> <p>「カーボン強化マグネシウム合金の開発と実用化」</p> <p>「アルミニウム・樹脂異材接合へのレーザ応用とアルミニウムへの表面処理」</p> <p>「アルミニウム/CF・PP の摩擦撈拌点接合技術」</p>	<p>堀金属表面処理工業(株)</p> <p>(株)日本製鋼所</p> <p>(株)STU</p> <p>広島工業大学</p> <p>マツダ(株)</p>	<p>西條充司</p> <p>部谷道雄</p> <p>橋本嘉昭</p> <p>日野 実</p> <p>西口勝也</p>

(8)九州支部

計画	実施状況
<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①役員会・例会(2回)</p> <p>2.講演会等 ①九州支部合同学術講演会 日本鉄鋼協会・日本金属学会の九州支部と共催</p> <p>3.人材育成 ①若手講演・若手ポスター発表会</p> <p>4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④若手ポスター賞表彰</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動</p>	<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①第 97 回平成 29 年 7 月 7 日 九州柳河精機(株) 第 98 回平成 30 年 1 月 26 日 熊本大学</p> <p>2.講演会等 ①平成 29 年 6 月 10 日 熊本大学黒髪南キャンパス</p> <p>3.人材育成 ①平成 28 年 6 月 10 日</p> <p>4.表彰関係 ①推薦なし ②推薦なし ③2 名推薦、受賞 ④合同学術講演会の若手優秀発表者 3 名を表彰、第 97 回例会にて講演発表</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動 産業技術総合研究所との連携準備</p>

<p>特記事項)</p>		
<p>1.②第 97 回例会講演(平成 29 年 7 月 7 日)</p> <p>「DC の中空化製法におけるシミュレーション技術の進化」</p> <p>「結晶塑性有限要素解析手法の紹介と軽金属への展開」</p> <p>「マグネシウム合金の摩擦撈拌接合」</p> <p>九州支部合同学術講演会優秀発表賞受賞学生講演(3名)</p> <p>2.②第 98 回例会講演(平成 30 年 1 月 26 日)</p>	<p>(株)本田技術研究所</p> <p>熊本大学</p> <p>不二ライトメタル(株)</p>	<p>小屋栄太郎</p> <p>眞山 剛</p> <p>佐々木美波</p>



「日本材料学会疲労部門委員会における非鉄金属材料の  
超高サイクル疲労特性評価に関する取り組み」

沖縄工業高等専門学校

政木清孝

「金属組織の違いによる静的強度と疲労強度に関して」

琉球大学

眞壁朝敏

「摩擦攪拌組織改質や硬質皮膜による Mg 合金疲労強度向上の試み」

岐阜大学

植松美彦

「AZ31Mg 合金圧延材の疲労特性に及ぼす試験片採取方向および負荷開始方向の影響」

佐賀大学

森田繁樹

5. 維持会員加入勧誘活動

セミナーの開催(内容、開催地、開催時期)、技術相談室の開設と利用および産業技術総合研究所からの協力体制の構築と役員就任の打診等について、九州支部役員会で検討しており、第 100 回例会は産業技術総合研究所九州センターにて開催することで了承されている。

## Ⅱ. 処務の概況

### [1] 役員等に関する事項

#### 1. 役員

職名	氏名	常勤・非常勤	就任平成年月日 (最初の就任の時)	重任平成年月日 (現在の任期の開始時)	報酬	担当 *: 委員長	現職名
代表理事・ 会長	伊藤 吾朗	非常勤	29年5月20日		なし	組織*	茨城大学教授
代表理事・ 副会長	松田 健二	同上	29年5月20日		同上	総合計画*	富山大学教授
同上	穴見 敏也	同上	29年5月20日		同上	総合計画 国際交流	日本軽金属(株)グループ研究センター グループマネージャー
理事	荒木 秀樹	同上	29年5月20日		同上	支部長会*	大阪大学教授
同上	井上 博史	同上	29年5月20日		同上	研究 国際交流	大阪府立大学教授
同上	河村 能人	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	国際交流* 支部長会	熊本大学先進マグネシウム国際研究センター長
同上	北園 幸一	同上	29年5月20日		同上	編集	首都大学東京教授
同上	小橋 眞	同上	29年5月20日		同上	企画	名古屋大学教授
同上	コマロフ・セルゲイ	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	国際交流	東北大学教授
同上	坂入 正敏	同上	29年5月20日		同上	企画	北海道大学准教授
同上	柴柳 敏哉	同上	29年5月20日		同上	大会運営*	富山大学教授
同上	鈴木 進補	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	総務	早稲田大学教授
同上	日野 実	同上	29年5月20日		同上	大会運営	広島工業大学教授
同上	廣澤 渉一	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	編集*	横浜国立大学教授
同上	御手洗容子	同上	29年5月20日		同上	編集	物質・材料研究機構 グループリーダー
同上	渡辺 義見	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	総務 参与会	名古屋工業大学教授
同上	足高 善也	同上	29年5月20日		同上	国際交流	東洋アルミニウム(株) 執行役員
同上	宇野 清文	同上	29年5月20日		同上	大会運営	三協立山(株)三協アルミ社 技術開発統括部 技術部部長
同上	橋内 透	同上	29年5月20日		同上	企画*	ヤマハモーターエレクトロニクス(株) 品質統括部 統括部長
同上	小出 政俊	同上	29年5月20日		同上	参与会*	(株)神戸製鋼所アルミ・銅事業部門 技術部長
同上	小山 克己	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	総務*	(株)UACJ 技術部主幹
同上	中沢 靖	同上	29年5月20日		同上	総務 研究	(株)本田技術研究所 四輪 R&D センター主任研究員
同上	久幸 晃二	同上	29年5月20日		同上	編集	昭和電工(株)事業開発センター 融合製品開発研究所 副所長
同上	戸次洋一郎	同上	29年5月20日		同上	研究	(株)UACJ 技術開発研究所 上席主幹
同上	山口恵太郎	同上	27年5月16日	29年5月20日	同上	研究*	三菱アルミニウム(株) 研究開発部長
監事	神戸 洋史	同上	29年5月20日		同上	監事	日産自動車(株)成形技術部 鑄造技術グループ シニアエキスパート
同上	堀田 善治	同上	29年5月20日		同上	同上	九州大学主幹教授

### [2] 職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	石川和徳	常勤	平成25年1月1日	全般	平成25年6月1日就任
職員	前田その美	常勤	平成8年4月1日	庶務	
職員	木村明子	常勤	平成8年4月1日	編集	
職員	中村秀樹	非常勤	平成28年2月1日	経理	

[3]会議等に関する事項

1. 総会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
定時総会	29年5月20日	1. 平成28年度事業報告に関する件(報告事項) 2. 平成28年度決算報告に関する件(審議事項) 3. 平成29年度事業計画の件(報告事項) 4. 平成29年度収支予算に関する件(報告事項) 5. 名誉会員の推薦に関する件(審議事項) 6. 平成29・30年度役員の選任に関する件(審議事項) 7. 定款改定に関する件	1. 全員異議なく原案通り確認。 2. 全員異議なく原案通り承認可決。 3. 全員異議なく原案通り確認。 4. 全員異議なく原案通り確認。 5. 全員異議なく原案通り承認可決。 6. 全員異議なく原案通り承認可決。 7. 全員異議なく原案通り承認可決。

2. 理事会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第46回	29年4月26日	<b>【審議事項】</b> 1. 平成29年度定時総会に関する件 ①平成28年度事業報告に関する件 ②平成28年度決算報告に関する件 2. 第47回理事会議案に関する件 3. 感謝状贈呈に関する件 4. 規程類の改定に関する件 (投稿、表彰、優秀ポスター発表賞規程) 5. 会員異動に関する件 <b>【報告事項】</b> 1. 他学会との協賛事業の件 2. 常設委員会報告	<b>【審議事項】</b> 1. 一部修正し全員異議なく承認可決。  2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案のとおり全員異議なく承認可決。  5. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 <b>【報告事項】</b> 1. 全員異議なく、確認した。 2. 国際交流、大会運営、研究、総合計画委員会報告。
第47回	29年5月20日	1. 会長及び副会長選任に関する件 2. 役員の業務担当に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第48回	29年6月29日	<b>【審議事項】</b> 1. 常設委員会委員選任に関する件 2. 選考委員会委員選任に関する件 3. 第134回春期大会実行委員会委員構成案および予算書案に関する件 4. 会員異動に関する件 5. 参与交代に関する件 <b>【報告事項】</b> 1. 第132回春期大会決算報告に関する件 2. 役員変更登記に関する件 3. 他学会との協賛事業に関する件 4. 常設委員会報告 5. その他 ・人材育成検討WG報告 ・参与会案内 ・学会指標	<b>【審議事項】</b> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。  4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 <b>【報告事項】</b> 1. 全員異議なく、確認した。 2. 全員異議なく、確認した。 3. 全員異議なく、確認した。 4. 編集、支部長会、総合計画等報告。 5. 資料に基づき報告。
第49回	29年9月28日	<b>【審議事項】</b> 1. 軽金属論文賞・論文新人賞、小山田記念賞、高橋記念賞、躍進賞、奨励賞、女性未来賞選考に関する件 2. 規程改定に関する件  3. 会員異動、材料戦略委員会委員、常設委員会・選考委員会委員変更の件 <b>【報告事項】</b> 1. HP改定状況報告 2. 女性会員の会活動協議会検討状況  3. 他学会との協賛事業に関する件 4. 7月・9月の常設委員会報告 5. 第20回エネルギー利用技術作品コンテスト	<b>【審議事項】</b> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。  2. 投稿、小山田記念賞、表彰、規程運用規程等、一部修正し全員異議なく承認可決。 3. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 <b>【報告事項】</b> 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。男女共同参画委員会準備WGとして活動予定。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。 5. 資料に基づき報告。東海支部担当。

第 50 回	29 年 10 月 26 日	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学会賞・功労賞・功績賞選考委員に関する件</li> <li>2. 中間決算報告</li> <li>3. ICAA18 準備 WG 委員に関する件</li> <li>4. 会員異動・常設委員交代に関する件</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支部中間活動報告</li> <li>2. 他学会との協賛事業に関する件</li> <li>3. 10 月開催常設委員会報告</li> <li>4. エネルギー利用技術作品コンテスト表彰に関する件</li> </ol>	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>4. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料に基づき報告。</li> <li>2. 資料に基づき報告。</li> <li>3. 資料に基づき報告。</li> <li>4. 資料に基づき報告。村松支部長中学校の部、1 件選考。</li> </ol>
第 51 回	30 年 1 月 31 日	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 軽金属希望の星賞、企業奨励賞選考に関する件</li> <li>2. 第 135 回秋期大会実行委員会委員構成案および予算書案に関する件</li> <li>3. 研究部会・新設の件(4 研究部会)</li> <li>4. 平成 30 年度支部費配賦額に関する件</li> <li>5. 各種規程類の新設・改定に関する件(投稿、大会、躍進賞・奨励賞・女性未来賞規程)</li> <li>6. 会員異動に関する件</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第 133 回秋期大会収支報告の件</li> <li>2. 他学会との協賛事業の件</li> <li>3. 常設委員会報告の件</li> </ol>	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>4. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>5. 原案を一部修正し、全員異議なく承認可決。</li> <li>6. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料に基づき報告。</li> <li>2. 資料に基づき報告。</li> <li>3. 資料に基づき報告。</li> </ol>
第 52 回	30 年 2 月 28 日	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第 21 回軽金属学会賞に関する件</li> <li>2. 第 20 回軽金属学会功労賞に関する件</li> <li>3. 第 16 回軽金属功績賞に関する件</li> <li>4. 平成 30 年度特別維持委員会会費に関する件</li> <li>5. ICAA18 誘致に関する件</li> <li>6. 男女共同参画委員設置の件</li> <li>7. 規程類の改定に関する件</li> <li>8. 支部長交代に関する件</li> <li>9. 会員・常設委員会委員異動に関する件</li> <li>10. 一般社団法人平成 30 年度定時総会開催に関する件</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 29 年度収支決算見込みおよび平成 30 年度予算案に関する件</li> <li>2. 学会賞・功労賞・功績賞応募、選考早期化案</li> <li>3. 他学会との協賛事業の件</li> <li>4. 常設委員会報告の件</li> </ol>	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>3. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>4. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>5. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>6. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>7. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>8. 東海支部長交代を全員異議なく承認。</li> <li>9. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>10. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全異議なく予算案を確認した。</li> <li>2. 資料に基づき報告。選考委員会日程を再検討</li> <li>3. 資料に基づき報告。</li> <li>4. 資料に基づき報告。</li> </ol>
第 53 回	30 年 3 月 29 日	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 30 年度事業計画に関する件</li> <li>2. 平成 30 年度収支予算に関する件</li> <li>3. 規程の改定に関する件</li> <li>4. 男女共同参画委員会委員選任に関する件</li> <li>5. 支部長交代、会員異動に関する件</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支部平成 29 年度活動報告および平成 30 年度活動計画について</li> <li>2. 研究部会平成 29 年度事業報告および平成 30 年度事業計画について</li> <li>3. 他学会との協賛事業の件</li> <li>4. 常設委員会報告の件</li> <li>5. 第 21 回「エネルギー利用」技術作品コンテスト</li> <li>6. 表彰スケジュール変更</li> </ol>	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 修正追記し、全員異議なく承認可決。</li> <li>2. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>3. 一部修正し、全員異議なく承認可決。</li> <li>4. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> <li>5. 原案の通り全員異議なく承認可決。</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全員異議なく、確認した。</li> <li>2. 全員異議なく、確認した。</li> <li>3. 全員異議なく、確認した。</li> <li>4. 資料に基づき報告。</li> <li>5. 関東支部に審査依頼。</li> <li>6. 春期大会表彰選考時期早期化。</li> </ol>

3. 常設委員会

(1)総合計画委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第12回	29年4月26日	1. 平成28年度決算および平成29年度予算案について 2. 常設委員会平成27・28年度活動まとめと引継事項 3. HPアンケート対応	1. 原案のとおり確認。 2. 各委員会活動報告・引継事項確認。 3. 各常設委員会への対応要請。
第1回	29年6月29日	1. 前期委員会からの引継事項 2. 今期委員会活動計画 3. 人材育成事業 4. 中堅企業支援R&Dプログラム 5. その他 軽金属奨学会からの論文賞副賞賞金贈呈 論文投稿対象範囲拡大の件 学会活動指標	1. 原案のとおり確認。 2. 原案のとおり確認。 3. 理事会での報告のため省略。 4. 原案のとおり確認。 5. 副賞贈呈、範囲拡大を承認し、理事会上申決定。規程等詳細の整備を並行して実施。
女性会員の会活動協議会第1回	29年9月21日	1. 協議会設置経緯 2. 女性会員の会現状 3. 他学協会の状況 4. 今後の進め方	1. 経緯報告。 2. 設立経緯を確認。 3. 他団体活動状況を確認。 4. 男女共同参画委員会設置に向けた準備WG設置決定。
第2回	29年9月28日	1. 2022年ICAA18日本誘致について 2. 人材育成事業について 3. 女性会員の会協議会発足について 4. 講演大会での表彰者講演 5. 常設委員会活動報告 6. 総合計画委員会活動課題	1. スケジュール、準備WG案承認。 2. 日本学術会議提言、日本金属学会「理数探求」など検討予定。 3. 男女共同参画委員会準備WGとして活動を承認。組織、メンバー調整中。 4. 表彰応募・選考早期化で対応予定。 5. 参与会・活動アンケート、大会運営・リクルート企画、国際交流・国際化など確認。 6. 引継事項等課題担当を決定。
第3回	29年10月26日	1. 支部活動中間報告(中堅企業支援活動状況) 2. 上期決算報告 3. 平成30年度支部費配賦案 4. 活動課題討議	1. 各支部長から活動報告。 2. 決算内容確認。 3. 配賦案承認。今後支部長合意確認。 4. 男女共同参画委員会設置準備WG活動案、刊行物電子化、大会会期見直し、人材育成事業進捗状況報告。
男女共同参画委員会設置準備WG第1回	29年11月9日	1. 男女共同参画委員会準備WG活動計画 ①準備WGメンバー ②男女共同参画委員会設置スケジュール ③ // 目的・役割・メンバー  ④ // 規程骨子作成 ⑤平成30年度活動計画 ⑥男女共同参画学協会連絡会への入会	1. 活動内容を協議した。 ①原案に学側、産側推薦を追加する。 ②4月委員会発足 ③女性活躍支援から開始し、啓発/調査、ネットワーク構築、会員サービスを実施。15名程度の委員会設置。 ④次回作成。 ⑤次回案作成。 ⑥平成30年4月オブザーバ加入
男女共同参画委員会設置準備WG第2回	29年12月21日	1. 男女共同参画委員会規程 2. 男女共同参画委員会メンバー 3. 活動内容	1. 女性会員の会を下部組織とする規程作成。若手の会編入は来期検討。 2. 企業選出委員、副委員長を追加し15名のメンバー案決定し、理事会上申。 3. 新委員会HP、女性会員の会での活動報告、女性会員データ採取、アンケート、大会セッション企画など案出し。
電子化WG第1回	30年1月16日	1. 第135回秋期大会講演概要集電子化 2. 他刊行物の電子化	1. ブラウザー表示方式データをHPからダウンロードする案取り纏め。一部冊子体印刷も含め費用見積。 2. 著作権問題対応も含め、電子化ガイドライン作成検討。
会員増強WG第1回	30年1月23日	1. 学会会員動向調査 2. 各常設委員会取組課題、課題報告	1. 正会員微減傾向、企業会員減少、30代の学側会員比率小など把握。 2. 講演大会、シンポジウム参加者増が会員

		<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 課題整理</li> <li>4. 他学会事例調査</li> </ul>	<p>増加につながっているか不明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3. 対象を絞った増強策検討が必要。</li> <li>4. 精密工学会事例より、学会への期待に対する評価指標のひとつとして会員数をとることができる。</li> </ul>
会員増強WG第2回	30年2月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学会会員動向調査</li> <li>2. 他学会事例</li> <li>3. 課題整理</li> <li>4. 会員特典</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業会員減少の実態調査。会員増強のターゲットを明確化した。</li> <li>2. 会員増強策、会員減少対策、会員サービスの事例を把握した。</li> <li>3. 研究部会設置など活動・交流の場を提供する方策検討を行う。</li> <li>4. 他学会の会員限定サービスを参考に、シンポジウム参加費見直しを4月から実施。</li> </ul>
第4回	30年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成29年度決算予測および平成30年度予算案について</li> <li>2. 男女共同参画委員会設置準備WG報告</li> <li>3. 会員増強WG報告</li> <li>4. 電子化WG報告</li> <li>5. 人材育成事業について</li> <li>6. ICAA18準備WG報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 原案のとおり確認。</li> <li>2. 委員会設置を理事会上申決定。</li> <li>3. 会員動向調査結果からターゲットに合わせた増強策検討中。</li> <li>4. 講演概要集の電子化案次回提案。</li> <li>5. HPリクルート掲載21社、製品供与貸与は大型製品貸与を追加。</li> <li>6. 6月のICAA16での誘致プレゼン案承認。2022年9月上旬開催予定。</li> </ul>
第5回	30年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度事業計画・予算案(第2次)</li> <li>2. 支部平成29活動報告と平成30年度活動計画</li> <li>3. 常設委員会検討課題フォロー・協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>①HPリニューアルに関する委員会意見</li> <li>②概要集電子化案、電子化ガイドライン</li> </ul> </li> <li>③論文投稿数増加方策と効果</li> <li>④規程改定の件</li> <li>⑤常設委員会出席率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 原案のとおり確認。</li> <li>2. 8支部報告を確認。</li> <li>3. 常設委員会課題まとめを実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①各委員会へ関連ページ確認要請。</li> <li>②著作権規程遵守の著者宣言を実施。企画、研究委員会対応策を受けて電子化ガイドライン作成。</li> <li>③過去対策を振り返り、改善策検討。</li> <li>④理事会上申内容報告。ポスター賞、功労賞、旅費規程等の改定方針議論。</li> <li>⑤出席率低下委員会へ改善要請</li> </ul> </li> </ul>

(2)総務委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第272回	29年7月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 引継事項と今期活動について</li> <li>2. 人材育成検討WG報告</li> <li>3. 規程・会員特典検討WG報告</li> <li>4. 広報検討WG報告</li> <li>5. 維持会員増強WG報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 引継事項確認、WGメンバー案承認。</li> <li>2. 今期活動について議論。</li> <li>3. 規程等運用、投稿、学会表彰、小山田記念賞記念賞規程確認。HP運用規程作成要請。</li> <li>4. HPリニューアル状況進捗報告。</li> <li>5. 増強策について議論。</li> </ul>
第273回	29年9月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 人材育成WG報告</li> <li>2. 規程・会員特典検討WG報告</li> <li>3. 広報・HPWG報告</li> <li>4. 軽金属希望の星賞支部推薦枠</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 科学実験室、高度人材育成、日本学会議提言など対応策議論。</li> <li>2. 小山田記念賞規程改定、HP運用規程検討、他学会価値向上策紹介、表彰者大会講演実施案議論。</li> <li>3. HP改定状況報告</li> <li>4. 推薦枠案承認し、支部へ推薦依頼。</li> </ul>
第274回	29年11月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 会員増強WG、電子化WG設置説明</li> <li>2. 人材育成WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品供与貸与</li> <li>・アルミニウム協会製品貸与</li> <li>・科学実験室</li> <li>・高度人材育成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 総合計画委員会WGメンバー、活動説明。</li> <li>2. 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度実施。開催報告を「はぐくむ」掲載。</li> <li>・技術企画委員会の意向確認。</li> <li>・実験事例集作成、HP掲載、教材配布検討。</li> <li>・支援策(奨学金給付、表彰)検討。</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理数探求教材</li> <li>・ライトメタルリクルート</li> <li>・アルミニウム協会インターンシップ連携</li> </ul> <p>3. 規程・会員特典検討 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP 運用規程</li> <li>・秋期大会表彰者記念講演</li> <li>・受賞年齢制限緩和</li> <li>・投稿規程</li> </ul> <p>4. 広報・HPWG 報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学宣伝教材の学会紹介。</li> <li>・平成 30 年度 HP 掲載企業募集。</li> <li>・学会維持会員企業のインターンシップ追加をアルミニウム協会で検討。</li> </ul> <p>3. 下記実施事項検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月案作成。</li> <li>・表彰公告・選考早期化。</li> <li>・年齢制限 2 歳緩和決定</li> <li>・査読 3 人体制変更決定。</li> </ul> <p>4. HP 改定状況報告</p>
第 275 回	30 年 1 月 25 日	<p>1. 人材育成検討 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミニウム協会製品貸与</li> <li>・ライトメタルリクルート</li> <li>・アルミニウム協会インターンシップ連携</li> <li>・科学実験室</li> <li>・理数探求教材</li> </ul> <p>2. 規程・パンフ WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP 運用規程</li> <li>・男女共同参画委員会規程</li> <li>・大会運営委員会規程、女性会員の会規程</li> <li>・大会規程</li> <li>・優秀英語ポスター発表賞</li> <li>・投稿規程(研究ノートを速報論文に変更)</li> </ul> <p>3. HP・広報 WG 報告</p> <p>4. 希望の星賞 2 次選考</p>	<p>1. 下記実施事項検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本アルミニウム協会大型製品貸与</li> <li>・リクルートサイト 1 月 30 日募集。</li> <li>・インターンシップ 1 月 31 日募集。</li> <li>・事例掲載 HP 作成。</li> <li>・検討要否判断。</li> </ul> <p>2. 下記実施事項検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 3 条: 目的見直し</li> <li>・原案の通り承認。</li> <li>・原案の通り承認。</li> <li>・受賞者講演申込費無料を承認。</li> <li>・総合計画委員会に見直し要請。</li> <li>・原案の通り承認。</li> </ul> <p>3. HP 改定状況報告と国際交流委員会からの英語 HP 追加要請検討。</p> <p>4. 30 名全員を選考し、理事会上申。</p>
第 276 回	30 年 3 月 23 日	<p>1. 人材育成検討 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型製品貸与</li> <li>・ライトメタルリクルート</li> <li>・アルミニウム協会インターンシップ連携</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学実験室</li> <li>・理数探求教材</li> </ul> <p>2. 規程・パンフ WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP 運用規程</li> <li>・功労賞規程、選考委員会運営細則</li> <li>・軽金属希望の星賞選考細則</li> <li>・優秀英語ポスター発表賞</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・査読要領(速報論文の 2 週間査読)</li> <li>・Mater. Trans. 執筆要領</li> <li>・編集委員会規程(対象を会誌に限定)</li> <li>・著作権規程</li> <li>・旅費規程</li> </ul> <p>3. HP・広報 WG 報告</p>	<p>1. 下記実施事項検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16 製品追加、供与品と一括募集。</li> <li>・23 社掲載。</li> <li>・インターンシップ応募なし。リンクボタン設置。</li> <li>・事例募集 4 月中旬、掲載 HP 作成。</li> <li>・金属学会事例参照後、検討。</li> </ul> <p>2. 下記実施事項検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し案承認。</li> <li>・受賞対象の議論必要のため保留。</li> <li>・支部長会での 1 次選考調整を追記。</li> <li>・優秀ポスター発表賞規程内への追記案承認。</li> <li>・原案の通り承認。</li> <li>・原案の通り承認。</li> <li>・他出版物の扱いの議論必要のため保留。</li> <li>・原案の通り承認。</li> <li>・実費負担前提に申請、支払手間軽減策検討。</li> </ul> <p>3. HP 改定状況報告と国際交流委員会からの英語 HP 追加要請検討。</p>

(3)企画委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 1 回	29 年 8 月 4 日	<p>1. 引継事項と今期活動について</p> <p>2. シンポジウム・セミナー開催報告</p> <p>3. 新規セミナー・シンポジウム案</p> <p>4. 軽金属基礎講座</p>	<p>1. 担当、活動内容を決定した。</p> <p>2. 103 回、104 回、中級 5 回、応用 3 回開催概要、セミナー満足度、参加者集計結果報告。</p> <p>3. 108 回自動車IV、109 回表面処理、110 回 3D プリンタ、111 回リサイクルシンポジウム、マグネシウムセミナーを検討。世話人決定。</p> <p>4. 安田委員の世話人参加決定。現在 35 名の参加申込み。</p>
第 2 回	29 年 10 月 24 日	<p>1. シンポジウム・セミナー開催報告</p>	<p>1. 105 回接合、基礎講座の開催報告、収支決算報告を確認</p>

		<p>2. シンポジウム・セミナー企画案</p> <p>3. その他</p> <p>①会員増強案</p> <p>②見学会企画</p> <p>③人材育成 WG 報告</p> <p>④HP アンケート回答</p> <p>⑤HP リニューアル進捗状況</p> <p>⑥テキストのカラー印刷</p>	<p>2. 108 回から 110 回シンポジウムの検討案を確認。アルミ合金組織(入門・中級・応用編)日程調整開始。マグネセミナー検討案確認。</p> <p>3. 以下協議。</p> <p>①正会員優遇制度提案・検討。</p> <p>②受賞企業、ユーザー企業、海外視察検討。</p> <p>③平成 29・30 年度予定確認。</p> <p>④担当選定を委員長に一任した。</p> <p>⑤改定内容、遅れ状況を確認。</p> <p>⑥50 名以上参加でカラー化判断</p>
第 3 回	29 年 12 月 19 日	<p>1. シンポジウム開催報告</p> <p>2. シンポジウム・セミナー企画案</p> <p>3. 見学会企画案</p> <p>4. 会員増強、電子化 WG</p> <p>5. HP アンケート対応</p>	<p>1. 106 回建築土木シンポジウム開催報告、収支決算報告を確認</p> <p>2. 107 回から 111 回シンポジウムの検討案、マグネセミナー検討案確認。</p> <p>3. 小山田記念賞受賞企業見学案検討。</p> <p>4. 各々、委員長、坂入副委員長が参画。正会員参加費の優遇案を承認。4 月から開始。</p> <p>5. ロードマップの開発課題に関するシンポジウム企画検討。</p>
第 4 回	30 年 2 月 20 日	<p>1. セミナー開催報告</p> <p>2. シンポジウム・セミナー企画案</p> <p>3. 見学会</p> <p>4. つま恋基礎講座</p> <p>5. その他</p>	<p>1. アルミ合金組織(入門編)第 7 回アンケート回答結果、収支報告。</p> <p>2. 107 回(自動車)、108 回(表面処理)会告。109 回(3D プリンタ)10 月、110 回(航空宇宙)11-12 月、111 回(リサイクル)平成 31 年開催。マグネシウムセミナーは地方開催企画。ロードマップからシンポジウム企画を次回委員提案。107 回テキストはカラー版を世話人が作成。</p> <p>3. 3 月 23 日ヤマハ発動機見学会会告。会員優先のため 1 週間早めのメール案内実施。車両関係見学会検討。</p> <p>4. 講師見直し、正会員参加費変更。</p> <p>5. 会員優遇策を会員増強 WG に検討依頼。企画主担当未経験の世話人に企画検討依頼。</p>

(4)編集幹事会・委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 596 回 幹事会	29 年 5 月 9 日	<p>1. 軽金属 6・7 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 校閲状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 7 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1)著作権・規程 G 報告</p> <p>2)会報 G 報告</p> <p>3)特集号 G 報告</p> <p>5. 第 132 回春期大会投稿勧誘、チラシ配布</p> <p>6. その他</p> <p>1)春期大会編集委員会議題</p> <p>2)平成 27・28 年度委員会引継事項</p> <p>3)論文賞・論文新人賞副賞贈呈の件</p> <p>4)投稿掲載料収入推移</p> <p>5)スコアパス収録状況</p>	<p>1. 進捗状況を確認。</p> <p>2. 校閲状況を確認。</p> <p>3. 掲載内容を確認。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1)執筆要領最終案と解説文確認。</p> <p>2)超音波利用に関する解説連載 12 月開始。3 協会の業界動向レビュー8 月掲載。</p> <p>3)5 研究部会企画をスケジュール化。</p> <p>5. 座長依頼文修正、チラシ内容確認。</p> <p>6. その他</p> <p>1)議題追加。</p> <p>2)投稿対象拡大等、追加。</p> <p>3)軽金属奨学会からの要請確認。</p> <p>4)状況確認。</p> <p>5)サイトスコア向上を引継事項追加。</p>
平成 29 年	29 年 5 月 21 日	1. 軽金属誌の現況	1. 現状を確認した。



度第1回編集委員会		2. 規程類 3. 引継事項	2. 執筆要領改訂、査読注意点を説明した。 3. 内容を確認した。
第597回幹事会	29年7月19日	1. 引継事項と今期活動について 2. 軽金属7-8月号の進捗状況報告 3. 校閲状況報告・確認 4. 軽金属9月号掲載内容報告・確認 5. 軽金属誌活性化状況報告 1)規程・投稿促進G報告 2)解説・会報G報告 3)特集・連載G報告 6. その他 査読体制見直し	1. 引継事項確認、Gメンバー承認。 2. 進捗状況を確認。 3. 校閲状況を確認。 4. 掲載内容を確認。 5. 各G検討結果報告。 1)大会投稿勧誘状況、投稿規程(投稿対象範囲拡大)確認。 2)製品技術解説、超音波利用技術解説、国際化取組、年間・業界レビュー進捗確認。 3)2018年5月押出特集、その他特集号企画協議。 6. その他 見直し案のメリット・デメリット整理
第598回幹事会	29年9月11日	1. 軽金属11-12月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属11月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1)規程・投稿促進G報告 2)解説・会報G報告 3)特集・連載G報告 5. その他	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各G検討結果報告。 1)査読体制見直し決定。投稿対象範囲拡大、奨学会副賞賞金の会告実施。 2)超音波利用技術解説1件承認。企業トップ懇談会検討。 3)JST、ISMAなど国プロ特集案を検討。チタン連載後継企画検討。 5. その他 Mater. Trans.報告、他学会誌活性化企画紹介。
第599回幹事会	29年10月27日	1. 軽金属12-1月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属1月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1)規程・投稿促進G報告 2)解説・会報G報告 3)特集・連載G報告 5. その他	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各G検討結果報告。 1)査読3名体制投稿規程改定。研究ノート定義見直し、大会概要への執筆要領準用実施。エディターリジェクト事例作成。 2)懇談会案、スポット解説案、次回具体化。 3)JST、ISMAなど国プロ特集企画について、執筆依頼決定。平成30年11月水素特集号決定。 5. その他 11月5日編集委員会資料確認。
平成29年度第2回編集委員会	29年11月5日	1. 軽金属誌の現況 2. 規程類 3. 特集号 4. 大会概要原稿の表記	1. 現状を確認した。 2. 査読方法変更を確認した。 3. 内容を確認した。 4. 執筆要領準用を確認した。
第600回幹事会	30年1月16日	1. 軽金属2-3月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属3月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1)規程・投稿促進G報告 2)解説・会報G報告 3)特集・連載G報告	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各G検討結果報告。 1)英語版執筆要領改定検討。投稿規程(速報論文)改定、出版物電子化に伴う、編集委員会、著作権規程改定検討。 2)トップ会談4月実施、9月号掲載。製品技術連載終了目途付け。 3)ISMA特集平成31年1月号掲載。時効析出今昔企画検討。平成30年9

			月グローバル化ミニ特集決定。
第 601 回 幹事会	30 年 3 月 7 日	1. 軽金属 4-5 月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属 5 月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 1) 規程・投稿促進 G 報告  2) 解説・会報 G 報告  3) 特集・連載 G 報告	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各 G 検討結果報告。 1) Mater.Trans 執筆要領、論文査読要領、編集委員会・著作権規程改定案了承。電子化ガイドライン案検討。投稿規程改定案内チラシ作成検討。 2) トップ会談：航空機関係で企業に取材打診。 3) ISMA 特集：平成 31 年 1 月号掲載。時効析出今昔：3 月、4 月号掲載。一般公募も実施。シミュレーション連載：次回連載タイトル、掲載順案提示。

(5)国際交流委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 10 回	29 年 4 月 4 日	1. ALMA HP(運用ルール、日本語版、英語版)  2. 国際交流・グローバル化 1) 概要への英文アブストラクト追加 2) 概要、ポスター等、図表英語化 3. ALMA2018 計画  4. その他	1. HP 運用細則総務委員会承認、英訳依頼。国際交流委員会規程も改定。 2. アンケート結果まとめ。大会運営委員会へ大会での英語採用を第 133 回秋期大会から開始を上申決定。 3. 第 135 回秋期大会の土曜開催を大会運営委員会へ上申決定。 4. 引継事項まとめ。
第 1 回	29 年 8 月 29 日	1. 引継事項確認 2. ICAA18 スケジュール、準備 WG  3. ALMA2018 スケジュール  4. 軽金属国際ワークショップ企画 5. 国際交流、グローバル化策討議	1. 引継内容を確認した。 2. スケジュールを確認し、準備 WG メンバ一案を承認した。 3. 135 回秋期大会開催のスケジュールを確認し、次回、担当決定予定。 4. 過去の開催状況を確認した。 5. 次回、方針決定に向けて、フリーディスカッションにより、問題点、課題などを抽出した。
第 2 回	29 年 11 月 1 日	1. 活動内容・役割分担 2. 目的・ビジョン・戦略/戦術・目標・計画          3. ALMA2018	1. 委員長案を確認した。 2. 7 名の課題・対応策報告について意見交換し、対応策を決定。 ① 他学協会との国際化ワークショップ 6 月開催。 ② 会誌への海外体験記ミニ特集 9 月号掲載。 3. 11 月 9 日 Meeting、見学会、レセプション、10 日エネルギー・環境テーマの Forum 開催。海外招待者旅費補助 10 万円、
第 3 回	29 年 12 月 6 日	1. 目的・ビジョン・戦略/戦術・目標・計画          2. ALMA2018	1. 4 名の課題・対応策報告について意見交換し、対応策を決定した。 ① 英語優秀ポスター発表賞設置。 ② 国際ワークショップテーマを学会ロードマップ参照の上、検討。 ③ 英語版 HP コンテンツ見直し 2. 準備事項担当決定。 ① 各国講演者 2 名選定 ② 会告(HP、会誌) ③ 9 日の Meeting 議題、ロシア、アセアン諸国の参加 ④ 9 日の見学会 ⑤ 9 日のレセプション ⑥ Forum 概要、プログラム ⑦ 表彰楯 ⑧ 予算作成

		<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 他学協会との国際交流ワークショップ</li> <li>4. グローバル化ミニ特集会誌掲載</li> <li>5. 国際ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 6月6日開催予定。関連材料学会に講演依頼。</li> <li>4. 約30名の執筆者案をまとめた特集号案を編集幹事に上申。</li> <li>5. フラウンホーファー研究機構にドイツでの産学連携の講演を計画。日本代表部に日本語講演依頼に変更検討。</li> </ul>
第4回 (ICAA18準備WG)	30年2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 目的・ビジョン・戦略/戦術・目標・計画</li> <li>2. ALMA2018開催準備、担当</li> <li>3. ICAA18準備WG報告</li> <li>4. 他学協会との国際交流ワークショップ開催</li> <li>5. 軽金属国際ワークショップ企画</li> <li>6. 国際会議便り案</li> <li>7. 優秀英語ポスター発表賞</li> <li>8. 英語HPに関する要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2名報告。次回、各担当構想報告。</li> <li>2. 講師30分講演のプログラムに修正し、各国代表へ講師選定依頼。</li> <li>3. 松田WG主査からの会場、予算、誘致プレゼンテーション案提案承認。</li> <li>4. 平成30年6月6日開催内容決定。</li> <li>5. フラウンホーファー講演会(接合・鋳造)11月開催準備。</li> <li>6. 今後の国際大会、執筆者案決定。</li> <li>7. 総務委員会修正案了承。選考対象、審査基準など日本語発表同様。</li> <li>8. 総務委員会に要望提出し、回答待ち。</li> </ul>

(6)大会運営委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第8回	29年4月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)改善策</li> <li>2)第132回大会企業交流会内容</li> <li>3)第133回大会企業招待講演</li> </ul> </li> <li>2. 運営WG報告・討議 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)大会会期の2.5日制再提案</li> <li>2)大会英語化(第133回大会より実施)</li> <li>3)ALMAセッションの第135回大会組入</li> </ul> </li> <li>3. その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)第133回大会では企業セッション企画、第134回大会ではリクルート企画予定。</li> <li>2)有料展示5社、支部展示4社。</li> <li>3)アルミ協会賞受賞13社中、開発賞5件と技術賞3件の8件、2セッションを計画。</li> </ul> </li> <li>2. 運営WG報告・討議 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)第135回秋期大会から採用決定。</li> <li>2)国際交流委員会提案を採用。</li> <li>3)土曜セッションへの組入れ決定。</li> </ul> </li> <li>3. 軽金属奨学会からのポスター賞副賞贈呈、第132回、第133回大会準備状況確認。引継事項。</li> </ul>
第1回	29年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 引継事項と今期活動について</li> <li>2. 企業WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)第133回大会企業交流会内容</li> <li>2)第134回大会リクルート企画</li> </ul> </li> <li>3. 運営WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)大会2.5日制</li> <li>2)講演分類見直し</li> </ul> </li> <li>4. 第132回春期大会の決算および反省点</li> <li>5. 第133回秋期大会の開催計画</li> <li>6. 第134回春期大会について <ul style="list-style-type: none"> <li>1)開催計画概要、予算、実行委員会名簿</li> <li>2)テーマセッション募集日程</li> </ul> </li> <li>7. 若手の会、女性会員の会の報告</li> <li>8. 第133回大会プログラム編成について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 引継事項確認、WGメンバー承認。</li> <li>2. 企業WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)招待講演4件。企業テーマセッションは第134回大会で実施検討。</li> <li>2)内容再検討、秋期大会での実施検討。</li> </ul> </li> <li>3. 運営WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)会誌へ検討経緯報告掲載。</li> <li>2)投稿範囲拡大に伴う見直し。</li> </ul> </li> <li>4. 決算および反省点について報告。</li> <li>5. 資料に基づき報告、確認。</li> <li>6. 資料に基づき報告、確認。</li> <li>7. 両会からの報告を確認。</li> <li>8. 新講演分類にてプログラム編成。座長、ポスター審査員案を決定。</li> </ul>
第2回	29年9月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)企業・学生交流会改善策</li> <li>2)企業セッション企画</li> <li>3)リクルート企画</li> </ul> </li> <li>2. 大会運営WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)2.5日制試行フォロー(金曜集約策)</li> <li>2)ポスター賞採点方法見直し</li> </ul> </li> <li>3)講演分類検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)学生勧誘を133回大会で実施。リクルートサイト認知度アンケート実施。</li> <li>2)134回大会で熱交セッション実施。</li> <li>3)134回大会でポスター後に実施。</li> </ul> </li> <li>2. 大会運営WG報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)レセプション実施案検討。</li> <li>2)135回大会から時間延長、審査件数増加検討。</li> <li>3)133回大会でアンケート実施。</li> </ul> </li> </ul>

		4)概要集電子データ化 5)関東支部秋期大会担当負担軽減策 6)表彰者の講演セッション発表組込み 3. その他	4)他の刊行物と一緒に議論。 5)支部長会検討内容を参照する。 6)表彰応募・選考早期化で対応。 3. 編集幹事会からの概要への執筆要領準用を承認。
第1回運営WG	30年1月18日	1. 各G進捗 1)青木G 135回大会金曜集客策  2)西田G ポスター審査見直(審査員削減) 3)中村G ユーザー目線講演分類 4)日野G 概要集電子化	1. 各Gの進捗状況報告 1)市民フォーラム講演内容、タ方レセプション計画 2)半減案計画 3)アンケート再度実施、WEBも利用。 4)pdf形式を電子化 WGに提案
第1回企業WG	30年1月18日	1. 各G進捗 1)企業セッション 第134回春期大会企画 2)リクルート企画 同上	1. 各Gの進捗 1)初日招待講演セッションのみ実施。 2)軽金属企業研究会の名称で会社説明会実施。初日午後90分限定実施。支部企業展示は2日間実施。
第3回	30年1月24日	1. 第133回秋期大会の決算および反省点 2. 第134回春期大会の開催計画 3. 第135回秋期大会について 1)開催計画概要、予算、実行委員会名簿 2)テーマセッション募集日程 4. 企業WG報告・討議 1)第134回大会企業セッション改善策  2)リクルート企画  5. 運営WG報告・討議 1)第135回大会2.5日制スケジュール 2)ポスター審査方法見直し  3)表彰者受賞講演 4)優秀英語ポスター発表賞 6. 若手の会、女性会員の会の報告 7. 第134回大会プログラム編成について	1. 決算および反省点について報告。 2. 資料に基づき報告、確認。 3. 第135回秋期大会実施内容決定。 1)資料に基づき報告、確認。 2)資料に基づき報告、確認。 4. 第134回大会実施内容決定。 1)熱交テーマの招待講演計画、企業展示は実施しない。 2)軽金属企業研究会の名称で学生への企業説明実施。初日14:30-16:00。 5. 第135回秋期大会変更内容決定。 1)金曜行事決定。 2)第135回大会から変更。2時間、審査員審査数増加、学生3名審査。 3)講演申込費無料化 4)第135回大会から実施。 6. 両会からの報告を確認。 7. 新講演分類にてプログラム編成。座長、ポスター審査員案を決定。

(7)研究委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第8回	29年4月18日	1. 研究部会平成28年度事業報告 2. ロードマップ報告 3. 引継事項、HPアンケート 4. 総会資料(研究事業報告・事業計画)、研究部会予決算 5. 平成29年度部会費徴収	1. 14部会報告。 2. 10テーマ報告。活用法議論。 3. 内容確認。 4. 内容確認。 5. 部会参加企業確認と6月徴収連絡。
第1回	29年9月12日	1. 引継事項 1) 研究部会フォロー体制について 2)コンスタントな部会新設について 3)ロードマップについて 4)材料戦略委員交代  2. 部会中間報告(7部会) 3. 決算報告  4. 今後の開催予定	1. 部会フォロー担当者を決定。ロードマップ作成まとめ役が部会新設案を検討し、11月27日に今期数件の部会新設を検討予定。アルミニウム協会とのロードマップ作成検討メンバー決定。熊井・戸次委員に委員交代。 2. 各部会活動内容確認と要望事項。 3. 8月末決算結果報告。部会報告書作成費用確保要請。費用削減のため、電子化検討要請あり。 4. 2年間の開催予定決定。
第1回研究部会新設WG	29年11月27日	1. 部会新設WG報告	1. 10部会から部会新設候補案件を持ち寄り、平成30年度候補7テーマを選定し、提案書作成を依頼。お化け部会後継の耐火物部会の提案追加。
第2回	29年12月14日	1. 部会新設WG報告	1. 4部会の平成30年度新設決定。部会公募サイトもHPリニューアルに合わせて設置。

		2. 部会中間報告(8部会) 3. 材料戦略委員会企画委員会報告  4. 総合計画委員会・電子化WG  5. 平成29年度決算見込みと平成30年度予算作成スケジュール	2. 各部会活動内容確認と要望事項。 3. 材料研究開発戦略に追加するキーワードを検討する。 4. 委員長が参加し、大会概要集の電子化を進める。研究部会報告書の電子化も議論予定。 5. 1月中旬に部会長に依頼予定。
--	--	--	--

(8)支部長会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第1回	29年5月21日	1. 平成28年度支部収支報告書および平成29年度支部収支予算書および第1四半期決算について 2. 中堅企業支援活動 3. 今後の開催予定地 4. 年間表彰スケジュール 5. 会誌支部特集 6. その他	1. 事務局より提示した資料確認。 2. 平成28年度実績報告とH29年度活動要請。 3. 平成31年第136回春期大会までの開催日程、予定地を確認。 4. 事務局提示資料を確認。高橋記念賞選考委員支部見直しと、委員確認依頼。 5. 中国、四国支部2018年7月掲載を確認。 6. 引継事項確認。支部配賦額、秋期大会担当、中堅企業支援事業内容等の見直しを実施予定。
第2回	29年10月26日	1. 支部長会課題議論 ①HPアンケートアクション ②4回開催による課題共有、解決 ③大会2.5日制課題検討 ④秋期大会の関東支部担当の見直し ⑤支部配賦額の見直し  ⑥中堅企業支援プログラムの内容議論	1. 各課題について協議。 ①中高生支援助成枠新設検討。 ②③~⑥課題を継続検討。 ③135回大会予算案、内容確認、検討。 ④分担軽減策検討。 ⑤予算申請に応じた配賦方式、留保の適正化継続検討。 ⑥学会紹介パネルの貸出利用。
第3回	29年11月5日	1. 平成29年度支部第2四半期決算 2. 平成30年度支部費配賦額 3. 維持会員増強 4. 中高教諭向け工場見学会 5. 今後の開催予定地 6. 年間表彰スケジュール	1. 事務局より提示した決算資料確認。 2. 配賦額承認。 3. 支部無料セミナー開催予定確認。 4. 関東支部、企画委員会案確認。 5. 137回秋期大会東京農工大決定。 6. 締切3週間前に事務局から連絡。希望の星賞推薦数事前連絡。
第4回	30年2月28日	1. 第135回秋期大会2.5日制実施案 2. 秋期大会の関東支部担当の見直し 3. 中高生支援助成枠新設 4. 支部留保適正化と関東支部費増加対策 5. 軽金属希望の星賞理事会承認早期化 6. 功労賞・高橋記念賞支部推薦について 7. 見学会・マグネシウムセミナー開催について 8. 表彰応募推薦時期変更	1. 支部(実行委員会)担当確認。 2. 関東支部から見直し不要との回答。 3. 平成30年度10万円予算追加。 4. 事業支出1年分の留保目標提示。支部留保減少傾向もあり、様子見。 5. 理事会メール審議採用で1月中旬決定。 6. 功労賞の支部受賞枠確保等検討。 7. 企画委員会事業へ個別協力。 8. 大会での受賞講演実施のため、表彰応募推薦時期早期化案説明。

(9)参与会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第23回	29年7月5日	1. 見ハリタ金属学会の実施 2. 講演会の実施  3. 委員会の開催	1. リサイクル工程、LIBS選別設備 2. リサイクリングシステムの構築とその社会実装、LIBSソーティングによるアルミ車両スクラップ選別技術 3. 軽金属学会紹介と参与会アンケート実施予告
第24回	30年2月23日	1. 講演会の実施	1. 「軽金属、業界のロードマップについて」 「最近の軽金属の接合技術、マルチマテ

		2. 委員会の開催	リアル接合技術の動向」 2. 参与会活動、アンケート結果報告 今後の参与会活動について意見交換
--	--	-----------	---

(10)組織委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
なし			

[4]許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡平成年月日	議事事項	履行状況
なし		

[5]契約に関する事項

契約締結平成年月日	契約内容	契約先・委託者
29年4月3日	押出組織制御研究部会受託研究契約書	日本大学機械工学科 教授 星野倫彦
29年4月3日	押出組織制御研究部会受託研究変更契約書	長岡技術科学大学工学研究院 准教授 本間智之
29年4月3日	押出組織制御研究部会受託研究契約書	千葉工業大学工学部機械サイエンス学科 准教授 寺田大将
29年5月15日	ホームページ制作業務委託契約	アプライド(株)
29年10月23日	新エネルギー向け表面処理研究部会共同研究契約書	佐賀大学海洋エネルギー研究センター 准教授 有馬博史
30年2月6日	新エネルギー向け表面処理研究部会共同研究契約書	室蘭工業大学もの創造系領域 航空宇宙システム工学ユニット 准教授 境 昌宏

[6]寄付金に関する事項 寄付金支出はなし

[7]主務官庁からの連絡および報告事項

連絡平成年月日	議事事項	履行状況
なし		

[8]その他重要事項 特になし

[9]会員動向

( )内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
平成30年4月1日	55	94	1,529	235	(7)	1,764	1,913
平成29年4月1日	54	95	1,530	262	(8)	1,792	1,941
差引増減	1	△1	△1	△27	(△1)	△28	△28

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
平成30年4月1日	453	100	937	39	1,529
平成29年4月1日	445	110	945	30	1,530
差引増減	8	△10	△8	9	△1

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口数								年間購読	
			10	8	6	5	4	3	2	1		合計
平成30年4月1日	5	131	2	0	0	0	1	3	16	109	174	65
平成29年4月1日	5	130	2	0	0	0	1	3	17	107	174	68
差引増減	-	1	-	-	-	-	-	-	△1	2	-	△3

[10]事業報告の附属明細書 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。